

第4章

施策の体系と展開

第4章 施策の体系と展開

1 施策の体系

《基本理念》

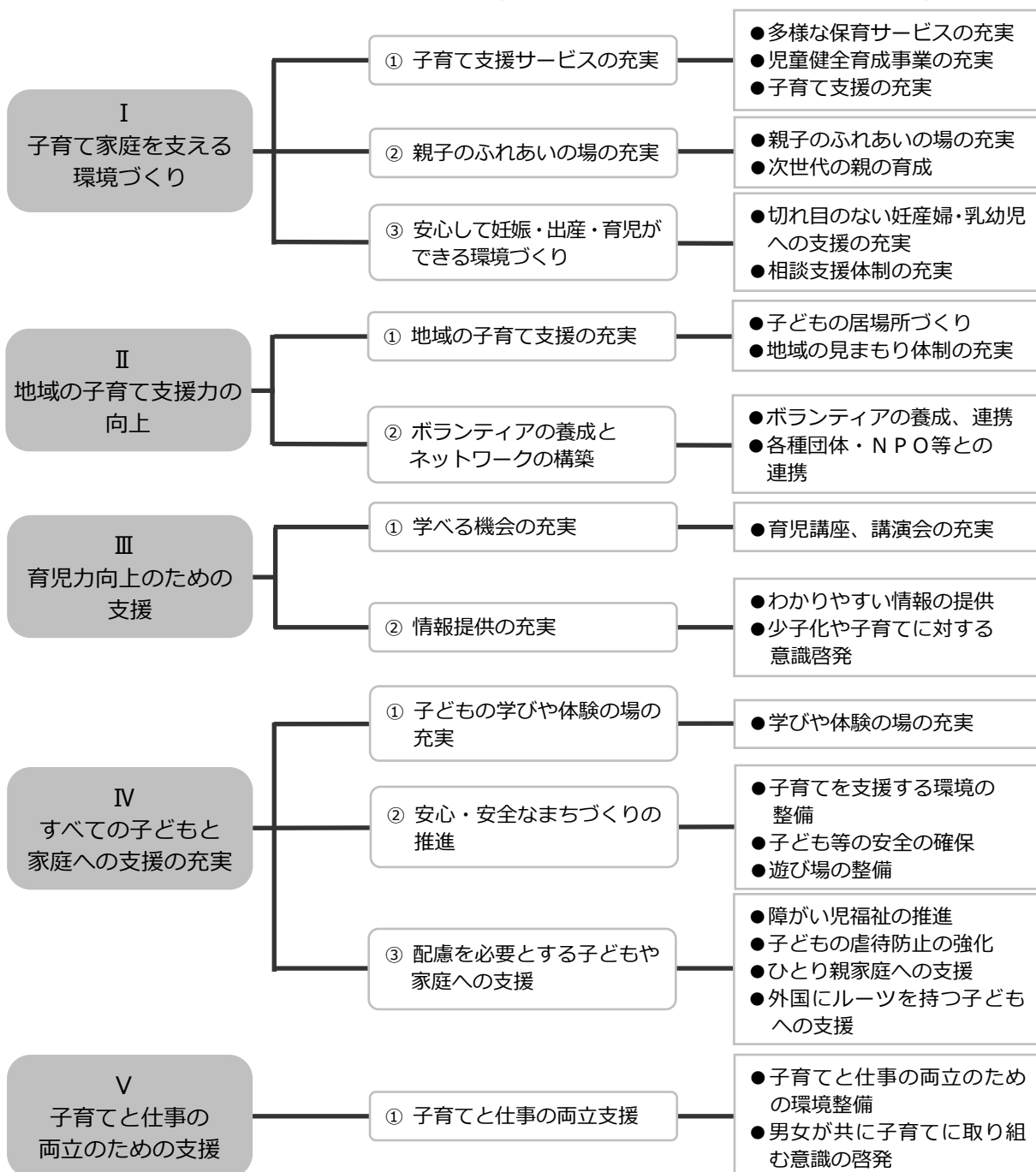
すべての子どもと親が幸せを実感できるまち

～子どもと家族の笑顔を地域全体で育むために～

《基本目標》

《施策目標》

《重点施策》



2 施策の展開

5つの基本目標に基づく11の施策目標のもと、事業を展開します。

基本目標Ⅰ 子育て家庭を支える環境づくり

核家族化等で近くに頼れる祖父母や親戚がおらず、子育てが孤立し、出産や子育てに対する不安や負担感を持つ人が増加しています。同時に、共働き家庭やひとり親家庭が増加するとともに、個人のライフスタイルや就労形態も大きく変化しており、それぞれのニーズに応じたきめ細かな子育て支援が求められています。

こうした中で子どもを安心して生み育てるためには、妊娠・出産期から親子の健康を確保するための母子保健に関する取り組みをはじめ、子どもの成長段階に合わせ、多様な保育サービスの提供や地域における支援体制の整備など、きめ細かな支援の手を差し伸べる必要があります。さらに、「子どもの視点」に立ち、子どもが夢を持って健やかに成長できるよう、「子どもの最善の利益」を考慮した子育て環境を整備する必要があると考えます。

本市では、子育て家庭・地域・企業・行政などが連携・協働し、まちぐるみで子育て家庭を温かく見まもり、子育てに対する不安や負担を和らげ、子育ての喜びを感じることができるよう環境づくりを進めます。

施策目標Ⅰ-① 子育て支援サービスの充実

市民の声・会議の意見

- ・放課後子ども教室はとても良かった。3年生以降もあるといい。
- ・幼児教育・保育の無償化により入所児童が増加し、そのしわ寄せが保育士に来てしまうと、保育士の質の確保ができるか、労働環境が悪化してしまわないか心配。
- ・放課後児童クラブに求められるのは、子どもの見まもりだけではない。これからは、いかに子どもが主体的に施設に集まるか、異年齢の子と関わる力を持つことがどれほど大きな社会性を身につけることなのかを考え、支援を進めていく必要がある。

《重点施策》 ● 多様な保育サービスの充実

・ 施策の方向性

多様化する保育ニーズに対応するため、地域ニーズを踏まえながら、子どもや保護者の視点に立った教育・保育環境の安定的な提供に努めます。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
1	通常保育事業 【子育て支援課】	保護者の就労・就学・疾病等の理由により、家庭で保育できない児童を保育所等において保育します。
2	乳児保育事業 【子育て支援課】	産前産後や育児休業終了後の就労等に対応するため、0歳児から保育します。
★3	延長保育事業 【子育て支援課】	多様化する保育ニーズに対応するため、保育所等において、通常の保育時間から延長して保育を実施します。
★4	一時預かり事業 【子育て支援課】	保護者の疾病や冠婚葬祭、介護・育児疲れ等の理由により、児童の保育が困難になったときに、一時的に保育所等において児童を預かります。
★5	病児・病後児保育事業 【子育て支援課】	病院敷地内にある病児・病後児保育室において、病気中や病気回復期であり、家庭で保育できない児童を一時的に預かります。
◎6	障がい児保育事業 【子育て支援課】	集団保育が可能な障がい児を受け入れ、保育所等の生活を通して発達促進と生活習慣の自立を支援します。
◎7	保育内容の充実 【子育て支援課】	一人ひとりの主体性を大切にしながら、保育の質の確保と向上を図ります。また、小学校との連携を計画的かつ継続的に行い、円滑な接続をしていきます。
8	幼稚園や保育所における安全・安心な給食の提供 【子育て支援課】	乳幼児の体調やアレルギーに配慮した安全・安心な給食を提供します。
9	保育所の整備 【子育て支援課】	老朽化した施設を整備し、児童に安全で快適な保育環境を提供していきます。
10	施設改修費補助事業 【子育て支援課】	私立保育所等が老朽化のために行う改修工事や、定員を増員するために行う増築工事等に必要費用の一部を助成します。
★11	適正な教育・保育の量の確保 【子育て支援課】	多様化・複雑化する保護者の保育ニーズに対応するため、子ども・子育て支援事業計画に基づき、さまざまな方策により、保育の質を損なうことなく、適正に教育・保育定員を確保していきます。そのためには、保育士の確保も必須なため、今後も保育士が働きやすい環境を整えていきます。また、保育所・幼稚園が認定こども園へ移行する場合は、必要な体制づくりを支援します。
12	民間企業内保育所開設支援事業 【子育て支援課】	事業所内で保育所を設置する企業に対し、開設するための施設・設備等の一部を援助します。
★13	ファミリー・サポート・センター事業 産後お助け隊 【社会福祉協議会 （子育て支援課）】	子どもたちの健やかな成長を見まもり、子どもを安心して生み育てることができる環境をつくることを目的として、育児に関する相互援助活動事業を実施します。また、産後の安静が必要な時期に、家事や育児の援助を行い、保護者の負担を軽減し、出産後の安心な環境をつくりまします。
14	幼児教育・保育の無償化 【子育て支援課】	保育所や認定こども園、幼稚園、認可外保育施設等に通う市民税非課税世帯等の0歳から2歳までの児童と3歳以上（保育を受ける児童は年少以上）のすべての児童に対し、保護者の経済的負担の軽減等を目的に利用料の無償化を行います。幼稚園や認可外保育施設等に通う児童の無償化のために保護者に給付する施設等利用給付については、保護者の利便性を考慮し可能な限り「現物給付※1」と「償還払い※2」を実施します。また、幼児教育・保育の質を担保するため、県と連携しながら進めていきます。 ※1 現物給付…保護者は施設に利用料を支払わず、市が利用料にあたる施設等利用給付を施設に支払うこと。 ※2 償還払い…保護者が施設に利用料を一時的に支払い、その後申請を行い、市から費用の払い戻しを受けること。

事業名		事業内容
15	多子世帯の病児・病後児保育の利用料の免除 【子育て支援課】	18歳までの児童を3人以上扶養する世帯について、子どもの病児・病後児保育の利用料を免除します。
16	ワールドカフェ事業 【子育て支援課】	幼児教育を専攻する者や関心を持つ高校生、大学生及び保育士を対象に幼児教育を主テーマとした研修会を開催します。保育への関心・理解を深め、将来の保育士確保へとつなげていきます。

<重点事業>

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
6	障がい児保育事業	公・私立保育所17園で集団保育が可能な障がい児の受け入れを行いました。	今後も継続して実施し、集団保育が可能な障がい児の受け入れ体制を整えていくとともに、児童発達支援事業所に通所中の児童と積極的に交流する機会を提供します。
7	保育内容の充実	公・私立保育所等で公開保育や保育士研修会を実施するとともに、小学校や幼稚園とも連携した研修を実施しました。 ・公開保育の実施 ・保育士研修会の実施（1回/月） ・保育所・幼稚園・小学校の合同研修会 （指導者研修会の実施：4回）	今後も保育所、幼稚園、認定こども園及び地域型保育事業所等が連携し、保育士等研修会や公開保育等により、幼児教育・保育の充実を図っていきます。また、幼保小の連携がさらに深まるよう研修会等を行います。

《重点施策》 ● 児童健全育成事業の充実

・施策の方向性

地域で子ども同士が安全・安心に交流を行い、多様な経験や活動ができるよう、放課後の居場所の提供をはじめ、道徳教育や健康づくりの充実、読書活動等を推進します。

<事業一覧> ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
★ 1	放課後児童健全育成事業 【教育委員会総務課】	仕事等の都合により子どもだけになる家庭の児童を放課後等に見まもりませす。
◎ 2	放課後子ども教室事業 【青少年教育課】	放課後を活用し、遊びや物づくりなどを通して、子どもと地域の大人がふれあえる場をつくりませす。
3	道徳教育の充実 【学校教育課】	「特別の教科 道徳」の時間を要とした「豊かな心の育成を目指した道徳教育」の一層の充実を図りませす。
◎ 4	地域とともにある学校づくりの推進 【学校教育課】	コミュニティ・スクールの推進を通して、学校、家庭、地域が子どもたちに願う姿を共有し、地域全体で子どもたちを育む取り組みの充実を図りませす。

事業名		事業内容
5	『各務原市子どもの読書活動推進計画』に基づく事業の実施 【中央図書館】	子どもたちが読書によって自ら学ぶ楽しさを知り、自立して、人生をより深く生きる力を身につけることができるよう、子どもたちの幸せを願って策定した計画に基づき、子どもの読書活動推進のための啓発を行います。
6	指導計画の改善・充実 【学校教育課】	基礎的・基本的な学力の確実な定着のための指導方法の工夫・改善のほか、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行います。
7	保健体育の授業と体力づくりの充実 【学校教育課】	運動に親しむ資質や能力を育て、健康の保持増進を図るよう、指導計画・方法を工夫します。
8	小児生活習慣病予防対策事業 【学校教育課】	肥満傾向（肥満度20%以上）の児童・生徒と保護者に呼びかけ、夏休み健康教室を開催し、運動する楽しさや食事の大切さを学びます。また、小4・中2の児童・生徒に脂質検査や学校医による講話を実施し、検査結果に基づき、指導が必要な児童・生徒に対する生活習慣病予防のための指導をします。その他、小・中学校保護者を対象とした健康講話を実施します。
9	喫煙防止教育事業 【健康管理課】	喫煙防止教育を希望する中学校に対して、生徒を対象とした喫煙防止の健康講話を実施します。

<重点事業>

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2	放課後子ども教室事業	地域の方々の特技などを活かした活動を通じて、多くの児童と大人が楽しくふれあう時間をつくりました。また、放課後児童クラブに在籍する児童で希望者は放課後子ども教室に参加できるよう、連携を図りました。	全小学校での活動を継続していき、子ども達が地域の方々とふれあえる環境の充実に努めていきます。
4	地域とともにある学校づくりの推進	各小・中学校では、年間を通じて計画的に、授業参観、各行事等を実施し、保護者等に学校を開放することに努めました。	計画的に授業参観や各行事を実施し、学校開放に努めるとともに、「学校運営協議会」等の評価をもとに、各学校の実態に応じた改善等に努めていきます。

《重点施策》 ● 子育て支援の充実

・ 施策の方向性

シルバー人材センターや幼稚園での預かり等、地域資源を生かし、保護者の育児負担の軽減を図ります。また、子育て家庭の経済的な生活の安定を通して、豊かな子育てが実現できるよう、手当や助成事業などの適切な運営や制度の普及を図ります。

<事業一覧>

事業名		事業内容
1	シルバー人材センターの子育て支援事業 【シルバー人材センター】	センター内の託児ルームでの預かりや、行事等での託児、掃除・洗濯等の家事援助を行います。

事業名		事業内容
2	幼稚園預かり保育事業 【幼稚園（子育て支援課）】	教育時間（標準の預かり時間）終了後に園児を幼稚園内で預かります。子育て家庭に、時間的余裕を持ってもらうことで、子育てを支援します。
3	こども医療費の助成 【医療保険課】	中学生までの入院・通院分の保険診療自己負担額を助成します。
4	児童手当の支給 【子育て支援課】	「児童手当法」に基づき手当を支給し、家庭生活の安定と児童の健全育成を図ります。
5	就学援助費の支給 【学校教育課】	経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対して、法律に基づき就学援助費を支給します。（学用品費・給食費・修学旅行費等の助成）
6	各務原市児童育成福祉 助成金の支給 【社会福祉課】	生活保護法による保護を受けている児童、各務原市準保護世帯福祉医療費助成に関する条例の規定による登録台帳に登録されている児童を対象に修学旅行費や課外活動費等の一部を助成します。

施策目標 I -② 親子のふれあいの場の充実

市民の声・会議の意見

- ・子育て広場のように、親子で楽しめるイベントがあるとうれしい（土日で開催してほしい）。
- ・母1人でも2、3人の子を連れて気軽に行ける遊び場があるとうれしい。
- ・各務原市は子ども館も多く、小さい子を育てる人達にとって、とても住みやすい環境だと思う。

《重点施策》 ● 親子のふれあいの場の充実

・施策の方向性

親子が気軽にふれあえる場を提供し、親子の絆づくりや楽しい子育てを支援するほか、子どもと子ども、親と親、家族と家族のつながりを深めていきます。また、同世代や多世代が交流できる場を提供し、育児ネットワークの構築に努めます。

<事業一覧> ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
★ 1	子ども館運営事業 【子育て支援課】	遊びを通して子育て親子をサポートするほか、親子の集いの場の提供や育児相談、講座・講演会の開催、子育てに関する情報提供等を行います。
◎ 2	ふれあい絵本デビュー 事業 【子育て支援課】	育児の中に絵本を取り入れ、親子のふれあいの時間を大切に、親子の絆を深め、より楽しい育児につなげます。
3	幼稚園の子育て支援事業 【子育て支援課】	幼稚園で地域の乳幼児親子等が集える場を提供します。

事業名		事業内容
4	すくすく子育て広場 (保育所) 【子育て支援課】	未就園の親子がふれあう場、地域の育児ボランティアとの交流の場を設定し、より楽しい育児環境を提供します。
5	保育所地域活動の推進 【子育て支援課】	保育所や地域において、世代間交流や異年齢児交流、子育て講座等を実施し、地域とふれあう機会を提供します。
6	那加保育園「たんぽぽ」 【子育て支援課】	未就園の親子がふれあう場の設定や育児相談、子育てセミナー等を開催し、保護者がリフレッシュできる場を提供するなど、子育て親子をサポートします。
7	ラ・ルーラ(子ども家庭支援センター) 【中部学院大学(子育て支援課)】	親子の集いの場を提供し、子育ての仲間づくりの支援や子育てに関する相談に応じています。
8	東海えほんの森 【東海学院大学(子育て支援課)】	地域の乳幼児や保護者、近隣保育所や幼稚園の園児に「絵本に親しむ場」「交流の場」を提供しています。

<重点事業>

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2 ふれあい絵本デビュー事業	4か月児健診時(月3回)に、絵本ボランティアが読み聞かせを実践したり、母親と会話をしたりしながら、絵本と子育て支援情報を配布しました。また、11か月児健診時(月2回)に乳幼児の保護者のサポートを行いました。	継続して実施し、絵本を介した親子のふれあいの大切さを伝えていきます。

《重点施策》 ● 次世代の親の育成

・ 施策の方向性

これから親になる世代が、命の大切さの理解や思いやりの心と親になる喜びを育むため、学習の機会の充実や乳幼児とのふれあいの場を提供します。また、職場体験を通じて、働くことへの意識啓発や社会の仕組みについて学ぶ機会を提供します。

<事業一覧>

事業名		事業内容
1	赤ちゃんとのふれあい体験活動の充実(子ども館) 【子育て支援課】	各子ども館のふれあい広場を活用し、小・中学生等が、赤ちゃんとのふれあいを体験することで、命の大切さを学び、親と子の関係を考えるきっかけとなる場を提供します。
2	多様な体験活動の機会の充実 【学校教育課】	小学校における福祉体験活動や、中学校における職場体験活動等の実施により、望ましい職業観・勤労観と生きる力を育みます。

施策目標 I -③ 安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくり

市民の声・会議の意見

- ・ のびのび測定はこれからも継続してほしい。初めての子育てのときには気軽に相談でき不安も解消できた。
- ・ 1歳になるまでは、何かと不安なので、話をきいてくれるサポートがあると、とてもうれしい。
- ・ 子育てをしていくうえで、悩みを共有できる場があれば参加したい。

《重点施策》 ● 切れ目のない妊産婦・乳幼児への支援の充実

・ 施策の方向性

妊娠期、出産期、新生児期、乳幼児期を通じて子どもや母親の健康が保持されるように、健康診査や訪問事業、各種健診等の充実を図ります。また、親の育児不安の解消を図るため、妊娠期から相談指導を実施し、乳幼児期まで継続した支援を実施します。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
1	一般不妊治療助成事業 特定不妊治療助成事業 【健康管理課】	保険適応外の一般不妊治療（人工授精）及び特定不妊治療（体外受精及び顕微授精、男性不妊治療）の費用を助成します。
◎ 2	マタニティ広場事業 【健康管理課】	妊娠・出産・育児について情報提供を行い、安心して妊娠中を過ごせるよう不安や悩みについて相談・助言を行います。また、妊婦同士が交流できる場を提供し、仲間づくりの機会とします。一部の講座では両親で参加し、夫婦で協力して子育てができるよう、妊婦体験や参加者同士の交流を行います。
★ 3	妊婦健康診査事業 【健康管理課】	母子健康手帳交付時に、妊娠中の異常を早期に発見し、妊婦の健康管理を図ることを目的に妊婦健康診査受診票を交付し、妊婦健康診査の定期的な受診を勧めます。
4	新生児聴覚検査助成事業 【健康管理課】	新生児の聴覚障がい早期発見・早期療育を図るため、新生児聴覚検査費用を助成します。
5	産後のケア事業 【健康管理課】	母乳での育児を支援するため、母乳育児相談助成や母体や新生児の健康確保を図るため産後1か月健康診査を助成します。また、産後ケアを必要とする産婦・乳児に対して、心身のケアや育児のサポート（産後ケア）を行います。
★ 6	新生児第1子全戸訪問事業 【健康管理課】	生後1～2か月頃に訪問して、体重測定や育児、産後の体調、母乳などの相談を行います。
7	乳幼児健診事業 （母子保健事業） 【健康管理課】	乳幼児の発育・発達を確認するとともに、病気や発達の遅れを早期に発見し、医療機関等につなげます。また、健やかな成長のために必要な指導を行い、育児の相談や助言を行います。
8	予防接種事業 【健康管理課】	予防接種法に基づき、感染のおそれのある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種を実施します。

事業名		事業内容
9	2歳児歯科教室 (歯科保健事業) 【健康管理課】	乳歯のむし歯が急増する2歳児の親子に対して歯や口の健康についての話や歯みがき状態を確認し、必要に応じて相談を行います。その他、食事や育児に関する相談も行います。
10	のびのび測定 (母子保健事業) 【健康管理課】	子どもの成長を親自身が確認できるよう、自由に身体測定ができる機会をつくります。また、希望者には健康相談を行います。
11	幼児フッ素塗布 (母子保健事業) 【健康管理課】	幼児期からかかりつけ歯科医を持ち、歯や口腔の健康管理を推進するため、指定歯科医療機関でのフッ化物塗布等(検診・ブラッシング指導含む)を実施します。

<重点事業>

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2 マタニティ広場事業	受講希望者すべてに対応しました。 ・マタニティ広場：20回開催	継続して実施し、安心して妊娠中を過ごせるよう不安や悩みについて相談・助言を行います。

《重点施策》 ● 相談支援体制の充実

・ 施策の方向性

安心して育児ができるよう、保健師による訪問や相談体制の充実を図ります。また、発達支援員、家庭児童相談員、母子自立支援員等の各種相談員が各家庭の状況に合わせて相談に応じ、必要な支援につなげていきます。

<事業一覧> ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
1	妊婦相談 (妊婦の健康相談事業) 【健康管理課】	母子健康手帳交付時に、妊娠中の身体の変化や過ごし方について指導・助言し、不安や心配ごとについて相談を行います。
2	歯科健診事業 (妊婦の健康相談事業) 【健康管理課】	妊娠中から8020(80歳まで自分の歯を20本)推進を啓発するため、情報提供・相談を行います。妊娠中に罹患しやすい歯周疾患等を予防するため、妊婦歯科健康診査(口腔内診査・歯科保健指導)を実施します。
3	母と子の健康相談 (保健、栄養、発達の各種相談事業) 【健康管理課】	女性の健康や子育て等についての相談を、電話や面接により随時行います。
4	訪問指導事業 【健康管理課】	乳幼児健診後の継続的な支援や保護者の希望により、支援が必要な家庭を訪問し、相談・助言・指導を行います。
★5	母子健康包括支援センター事業 (クローバー) 【健康管理課】	すべての妊産婦及び乳幼児とその保護者を対象に、予防的な観点から母子保健施策と子育て施策を一体的に提供することを通じて、妊産婦等の健康の保持増進に関する包括的な支援を実施します。
6	母子保健推進員活動の充実 【健康管理課】	子育て家庭に母子保健事業を広めるとともに、地域の身近な相談相手として活動する『母子保健推進員』を育成します。また、乳幼児健康診査の未受診者を訪問し、受診勧奨を行います。

事業名		事業内容
◎7	家庭児童相談事業 【子育て支援課】	育児における悩み等の相談や、児童虐待に関する相談を家庭児童相談員が行います。
◎8	ひとり親家庭相談事業 【子育て支援課】	ひとり親家庭の抱える諸問題に対して、母子自立支援員が相談・助言・指導を行います。
◎9	障がい者相談支援事業 「基幹相談支援センター」 (すまいる) 【社会福祉課】	総合的・専門的な相談支援業務及び成年後見制度に関する普及啓発、虐待の防止などを実施し、地域における相談支援の中核的な役割を担います。
10	相談体制の充実 (すてっぷ) 【教育センター】	近年の子どもたちを取り巻く地域や家庭環境の変化を踏まえ、子育てに戸惑う保護者や児童・生徒のために電話や来所、訪問で随時相談を受けサポートします。
11	心の教室 (相談体制の充実) 【学校教育課】	各中学校の悩みや問題を抱えた生徒に対して、心の教室相談員が随時相談を行います。
12	不登校相談 (相談体制の充実) 【教育センター】	小・中学校で不登校もしくは登校をしぶりがちな児童・生徒の保護者を対象に相談を行います。不登校児童・生徒の家庭へ、発達支援員や相談員が定期的に訪問しサポートしたり、不登校の児童生徒や保護者とのカウンセリングを行ったりします。また、月1回、保護者会を開催します。
13	「あすなる教室」での 相談及び適応指導の実施 【学校教育課】	不登校及び登校をしぶりがちな児童・生徒を対象に保護者・学校職員も含めて相談及び適応指導を行い、児童・生徒の登校を促します。
14	非行防止活動活性化事業 (少年センターでの電話 相談、面接相談) 【青少年教育課】	教育や子育てをはじめとする、さまざまな悩みを持つ家庭を支援するために、気軽に相談できる「親と子のための相談」活動を実施します。

<重点事業>

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
7 家庭児童相談事業	相談は、増加傾向であるが、きめ細かな相談・対応を行いました。	きめ細かな相談・対応を今後も継続していき、虐待等がなく子どもたちが健康的で安心した生活ができる社会環境を目指します。
8 ひとり親家庭相談事業	きめ細かな相談・対応を行いました。母子家庭の減少に伴い、相談件数も減少傾向にありますが、相談内容は複雑になっています。	きめ細かな相談・助言・指導を今後も継続していき、ひとり親家庭等の親子が健康的で安心した生活ができる社会環境を目指します。
9 障がい者相談支援事業 「基幹相談支援センター」 (すまいる)	総合的・専門的な相談等を適正に実施しました。	相談実人数のうち、障がい福祉サービスの利用につながった方の割合増加を目指します。

基本目標Ⅱ 地域の子育て支援力の向上

近年、核家族化の進行や共働き世帯の増加、地域とのつながりの希薄化など、子育て家庭を取り巻く環境の変化によって、子育てへの不安や悩み・孤立感を抱える家庭の増加とともに、家庭や地域における子育て力の低下が指摘されています。

地域で子どもの成長を温かく見まもり、子育て家庭を支える環境を整えるためには、地域で活躍する人材や団体などの社会資源を生かし、世代を超えたさまざまな交流を充実させていく必要があります。

地域の子育て支援活動をより一層活性化するために、関係機関や地域等とのネットワークを強化し、子育て家庭を地域全体で支援していく体制をつくっていきます。

施策目標Ⅱ-① 地域の子育て支援の充実

市民の声・会議の意見

- 土日等休みの際に地域で子育て世代の方々と交流できる場があれば、積極的に参加したい。
- 子の成長を見まもってくれる温かい眼差しをもっていただけたらうれしい。
- 見まもり隊は、引き続きやってほしい。
- 子育ては1人でするものではなく、皆ですると、子ども達の健全育成につながると思う。
- 高齢者と子育て世帯は結びついていない気がする。子育てによって人と人を結びつける様な事業があるといいと感じる。

《重点施策》 ● 子どもの居場所づくり

・ 施策の方向性

身近な地域において気軽に集い、子育て家庭の親子が安心できる居場所づくりを進めるため、親子サロンや子ども食堂を運営する団体を支援します。また、児童の健全育成を図るため、子ども会活動やスポーツ少年団の育成等、地域活動を支援します。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎ 1	「親子サロン」運営支援 【子育て支援課】	地域の社会資源を活用し、乳幼児親子が集える場「親子サロン」を運営できるよう支援します。
◎ 2	子ども食堂支援事業 【子育て支援課】	地域の子どもやその保護者、高齢者等が集まって食事や交流をする場「子ども食堂」を市内で運営・開設する団体に対して、運営や開設に係る経費の一部を助成し、子ども食堂運営のための体制づくりを応援します。
◎ 3	子ども会等地域活動の支援 【青少年教育課】	地域や関係機関等の協力による子どもたちの地域活動を支援します。（子ども会活動・ふれコミ隊活動など）
4	スポーツ少年団の育成 【スポーツ課】	指導者認定員の講習会や、交流会の開催、卒団文集「あゆみ」の発行等、市内スポーツ少年団の健全育成を図ります。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	「親子サロン」運営支援	地域の公民館等を利用して「親子サロン」を運営する団体に施設利用料等を支援しました。 ・親子サロン：6か所	子ども館が近くにない地域に親子サロンができるよう、親子サロン運営団体への支援を充実させます。
2	子ども食堂支援事業	市内で子ども食堂を開設・運営する団体に、開設費・運営費の一部を補助しました。 ・補助団体：1か所	子ども食堂が市内に広がるよう、子ども食堂を開設・運営する団体を支援します。
3	子ども会等地域活動の支援	子ども会やふれコミ隊が自治会、シニアクラブ等地域の団体と連携し、校区や町内の活動に積極的に参加しました。	地域の大人と子どもたちが関わる場面を多く作っていくため、引き続き地域、学校、家庭が連携し積極的な活動が行われるよう支援します。

《重点施策》 ● 地域の見まもり体制の充実

・ 施策の方向性

通学時等の子どもの安全確保のため、地域の目で子どもを守ることができるよう支援します。また、地域のボランティアによる家庭訪問やふれあい事業等を実施することで、地域住民の交流を深め、子育て世帯の孤立防止に努めます。

<事業一覧> ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
◎ 1	通学路ふれあい活動事業の支援 【青少年教育課】	主に登下校時における小・中学生の安全を確保し、地域でのふれあいや語らいを広げるために、「通学路見まもり隊」による見まもり活動や「通学路ふれあい交流」等の活動を支援します。
★ 2	こんにちは赤ちゃん訪問事業 【子育て支援課】	赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、「おめでとう」の気持ちとともに子育て支援情報を手渡します。乳児を持つ家庭と地域及び行政のつながりを強め、子育ての孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境を図ります。第1子は新生児訪問と兼ね、第2子以降はボランティアスタッフが訪問します。
3	子育てボランティア「ばあば・じいじとあそぼう」 【子育て支援課】	地域の子育てボランティアと子育て家庭が月に1回、季節の行事などを取り入れた催しを通じて交流を深めるふれあい事業を行います。
4	「子ども110番の家」の充実 【学校教育課】	子どもたちが、通学途中や地域で、つきまとい行為等の危険な思いをしたとき、安心して避難できる「家」として依頼します。保護と同時に警察・学校・家庭へ連絡してもらえます。

<重点事業>

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1 通学路ふれあい活動事業の支援	地域の方々の協力により、継続した活動が根付いています。登下校中の児童を見まもり、子どもたちに安心感を生み出しました。また、見まもり隊と児童生徒のふれあいを生み出しました。	シニアから保護者まで、幅広い世代の方に見まもり隊に登録していただき、多くの大人の目で子どもを見まもる風土を広げていきます。

施策目標Ⅱ-② ボランティアの養成とネットワークの構築

市民の声・会議の意見

- ・子育ての悩み等をきいて、情報を提供することはできる。
- ・自分が子育て中に、防災について試行錯誤で学んできているので、役に立てることがあるのではと思う。
- ・同じ兼業主婦で大変な方のサポートならできる。親族の方が近所にみえない方の子どもの預かり、助け合えたらすごくいいと思う。
- ・子育ての支援をするにあたり、行政で講習会等を開催していただき、勉強する機会があれば良いと思う。

《重点施策》 ● ボランティアの養成、連携

・ 施策の方向性

子育てを地域ぐるみで支えることができるよう、講座や研修会を通し、人材育成に努めます。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎ 1	地域の子育て支援力の発掘と養成（子ども館） 【子育て支援課】	「子育て支援講座」を開催し、地域の子育て支援力の発掘と養成を行うとともに活躍の場を提供します。
◎ 2	サポーター研修会（ファミリー・サポート・センター事業） 【子育て支援課】	ファミリー・サポート・センター事業のサポート会員等の発掘や質の向上のために、子どもの発達や救急救命講習等の研修会を実施します。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	地域の子育て支援力の発掘と養成（子ども館）	「子育て支援講座」を3日間（各2時間）開催、子ども館での実習を含め、子どもの発達や手遊び等を学びました。	より多くの人の受講を目指します。また、講座参加後、子育てに関連するボランティアとして活躍していただけるよう情報提供していきます。
2	サポーター研修会（ファミリー・サポート・センター事業）	研修会を3日間（計10時間）開催しました。	受講者のニーズに合わせ、内容を見直しながら、継続して実施します。

《重点施策》 ● 各種団体・NPO等との連携

・ 施策の方向性

NPO法人等が行う子育て活動等の事業に対し、活動経費の一部を助成します。また、子育て世帯の多様なニーズに対応するため、市ウェブサイト等を通じて活動内容を周知するなど、各種団体・NPO法人等との連携を図ります。

＜事業一覧＞

事業名		事業内容
1	まちづくり活動助成事業 【まちづくり推進課】	NPO法人等との連携を進めながら、市民や地域の担い手が自由な発想で主体的・積極的にまちづくりに取り組める環境をつくるため、NPO法人等が行う活動や事業に要する経費の一部を助成します。
2	NPO法人等への支援 【子育て支援課】 【まちづくり推進課】	多様な子育て支援へのニーズに対応できるよう、NPO法人等に対する相談窓口を設置したり、NPO法人等の事業内容について市ウェブサイト等を活用して周知したりします。

基本目標Ⅲ 育児力向上のための支援

家庭は子どもにとって生活の場であり、基本的な生活習慣や倫理観などを身につける場のひとつです。子どもの発達や成長に最も影響を与える家庭で、子どもの育ちをしっかりと支えていくためには、保護者が子どもの成長に応じた育児を学び、「親自身の成長」を促進することが大切です。

子育て家庭の育児力の向上に向け、子育てに関わる知識について学ぶ機会の提供を図るとともに、さまざまな媒体を活用した情報提供に努めます。

施策目標Ⅲ-① 学べる機会の充実

市民の声・会議の意見

- ・ 託児所がある講座やセミナーなど、育児中でも親が学べるものがあるとうれしい。
- ・ 親が子どもとの関わり方を学ぶことができる場が必要だと思う。

《重点施策》● 育児講座、講演会の充実

・ 施策の方向性

子どもの育ちの段階に応じて、家庭における育児が適切に行われるよう、各種講座などの学習機会を提供し、子育て家庭の育児力の向上を支援します。

<事業一覧> ◎：重点事業

事業名		事業内容
1	子育て広場事業 【青少年教育課】	保護者の方々の企画運営により、家庭教育をテーマとした親の学びの場を、計画的・継続的かつ集団的に行います。
◎ 2	子育てに関する講座・講演会（子ども館） 【子育て支援課】	子育ての基礎知識等を学ぶ場を提供し、親の成長を支援するとともに、家庭での楽しい育児につなげます。
3	保育所給食試食会 【子育て支援課】	乳幼児期の食事についての講話・給食の試食により、保護者に給食への興味と食事の大切さを伝えます。
4	親子対象講座 【いきいき楽習課】	乳幼児と保護者が一緒に参加することで、親子の絆が深まる講座を開催します。
5	子育て世代対象講座 【いきいき楽習課】	子育て中の保護者を対象に、子育てに関する知識の取得や、子育て世代の交流を図る機会を提供します。

<重点事業>

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2	子育てに関する講座・講演会（子ども館）	救急法講座、食育講座等受講者のニーズに応じた講座・講演会を実施しました。	受講者のニーズに応じた内容を継続して実施し、家庭での楽しい育児につなげていきます。

施策目標Ⅲ-② 情報提供の充実

市民の声・会議の意見

- ・LINEやウェブから情報を入手できるのはありがたい。
- ・いろいろな情報がある中で、自分にとってどれが一番いいのか、取捨選択していく難しさを感じる。
- ・家にいなくてはいけない乳児の親へもっと情報提供があるといい。ドラッグストアやスーパーなど、よく子育て世代が出向く場所も利用し情報を提供してほしい。

《重点施策》●わかりやすい情報の提供

- ・施策の方向性

各種健診や、子育て支援に関する情報を、必要な方に適切に届けられるよう、広報紙やインターネット等を活用し、積極的に提供します。

<事業一覧> ◎：重点事業

事業名	事業内容
◎1 子育て支援に関する情報提供 【子育て支援課】	健診日程や子育てに関するイベント等、タイムリーな情報を医療機関等の掲示板を活用して提供します。
2 子育てプチガイドの作成 【子育て支援課】	子育て支援情報を総合的にまとめた子育てプチガイドを作成し、配布します。
◎3 インターネットを活用した子育て支援情報の提供 【広報課】	市ウェブサイト（PC・携帯電話用）上に子育て中の保護者を対象とした子育て関連情報「子育て応援サイト ポケット」を掲載し、情報提供しています。また、メール配信希望者に情報メールを、公式LINEやツイッターでも子育て関連情報を随時配信します。
4 民間の生活情報誌への情報提供 【子育て支援課】	地域に密着した民間の生活情報誌へ、子育て関連情報を提供します。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	子育て支援に関する情報提供	毎月情報を1枚の紙にまとめ、医療機関等に掲示しました。	今後も継続してタイムリーな情報を届けるとともに、掲示か所の増加に努めます。
3	インターネットを活用した子育て支援情報の提供	広報紙での周知やライフデザインセンター等で携帯情報メール「ポケメール」の登録の啓発を行いました。	SNSは、災害に関する情報発信に有効であるため、防災情報の入手に利点があることなどを強調するほか、子育て世代が集まる場に呼びかけを行い、市公式LINEやツイッター等の登録を促します。

《重点施策》 ● 少子化や子育てに対する意識啓発

・ 施策の方向性

各務原市子ども・子育て会議で施策の進捗状況を公表し、委員からの意見を取り入れ、計画の見直しや施策の改善に努めます。

＜事業一覧＞

事業名	事業内容
1 「各務原市子ども・子育て支援事業計画」の公表 【子育て支援課】	計画の策定内容、会議の実施状況等を市ウェブサイトで公表します。また、委員からの意見を取り入れ、計画の見直しに反映させます。

基本目標Ⅳ すべての子どもと家庭への支援の充実

子どもの幸せを第一に考え、子どもの権利が最大限に尊重されることが、すべての子どもと家庭への支援のために最も大切です。しかし近年、児童虐待に関する相談件数が増加傾向にあるなど、社会環境や家庭環境の変化、養育力の低下により、子どもを取り巻く状況は大きく変わってきています。また、子どもの交通事故や子どもが被害にあう犯罪が依然として発生しています。

そのため、虐待・貧困・ひとり親など困難な環境にあって支援が必要な子育て家庭に対しては、関係機関との連携強化を図ることによって、すべての子育て家庭が安心し、心も身体も健やかに成長していくことができるよう、支援体制の充実を進めていきます。

さらに、子どもの安心・安全を図る対策として、地域や学校、警察などの関係機関・団体と連携し、交通事故の減少や犯罪防止に向けた取り組みを強化し、子どもたちを守るため、通学路の安全点検や地域の防犯活動に取り組みます。

一方、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化する中、子どもの豊かな心や主体的に生きる力を養うことが求められています。子どもの中に、さまざまな人とのふれあいの中で、経験や体験を重ねていくことは、自立心や創造性、コミュニケーション力といった「生きる力」を育むために大切です。地域に根付いた体験活動を通じて郷土愛や職業観を育むとともに、体験学習の充実を図ります。

施策目標Ⅳ-① 子どもの学びや体験の場の充実

市民の声・会議の意見

- ・ 寺子屋事業で地域の方とふれあえることで、つながりが増えた。もっと充実、継続してほしい。
- ・ 高学年にもなると、預かって欲しいというより、生活にプラスになる体験をさせたいと思う。
- ・ 子どもたちが少しでも安心した世の中で暮らせるよう、心の勉強、道徳の勉強をしてほしい。
- ・ いろんな立場や年代の人と交流する機会を増やし、思いやりや、その人の立場でモノを考え、実際に行動できる人格を育てていく施策を進めてほしい。

《重点施策》 ● 学びや体験の場の充実

・ 施策の方向性

子どもの生きる力のほか、職業観、郷土愛等を育むため、自然体験をはじめスポーツ、芸術・文化活動、国際交流等、子どものさまざまな関心や子どもの成長・発達段階に応じた多様な遊びや学習の機会の充実を図ります。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎ 1	寺子屋事業 (基礎学力定着事業) 【学校教育課】	地域人材を活用した「ららら学習室」を開設し、基礎的な学習に取り組む場を提供します。また、基礎基本定着問題集を作成し、小学校3年生以上の児童生徒に配付し活用してもらうことで基礎学力の定着を図ります。
◎ 2	寺子屋事業 (ものづくり見学事業) 【商工振興課】	子どもたちに本市の産業を支えるものづくりの現場を紹介し、次代を担う人材の育成を図ります。
◎ 3	寺子屋事業 (ふるさとの歴史発見事業) 【文化財課】	地域の歴史・文化を専門家から楽しく学び体験する講座を開催し、子どもたちの地域に対する誇りや愛着を醸成します。
◎ 4	寺子屋事業 (福祉体験学習事業) 【福祉総務課】	将来の各務原市を担う子どもたちが、福祉の現場で「見て、聞いて、ふれる」体験を通し、福祉について考えるきっかけとするとともに、やさしさや思いやりの心を醸成し、福祉を担う人材の育成を図ります。
5	各務野立志塾 【学校教育課】	次世代を担うリーダーの育成を図るため、岐阜県大野郡白川村のトヨタ白川郷自然学校で開催します。研修内容は産学官それぞれから優れた講師をお招きして、「養成講話」や「講師と語る会」「市長提案(毎年異なるテーマ)」をもとに、リーダーとして必要な見方や考え方を学びます。
6	部活動の支援と充実 【学校教育課】	外部指導者の導入などにより部活動の充実を図ります。
7	英語指導助手(KET)による英語教育の実施 【学校教育課】	英語指導助手(KET)を、全小・中学校等へ派遣し、標準的な正しい英語の音声にふれる機会を持ちます。
8	健やかな身体の育成のための食育の推進 【学校教育課】	給食の時間や、献立表を活用し、栄養の知識や食事の大切さ等、地産地消を含め指導します。
9	親子ふれあいフェスタ 【子育て支援課】	親子が創意工夫しながら一緒に活動することで、絆を深めるイベントを開催します。また、市内の高校生・大学生にスタッフとして参加を呼びかけ、次世代の親の育成を図ります。
10	保育所における食育の推進 【子育て支援課】	作物の栽培・調理体験により、食べることへの興味と大切さを教えます。
11	子どもふれあい体験 【少年自然の家】	さまざまな野外体験を通して、困難に立ち向かうチャレンジ精神や仲間とともに課題を解決する協力の精神、責任感を培います。身近な自然にふれることで、自然にふれる楽しさ、自然環境を守ることの大切さを学びます。

事業名		事業内容
12	家族ふれあい体験 【少年自然の家】	少年自然の家に宿泊し、自然や文化にふれるさまざまな体験を家族一緒に取り組み中で、家族の絆を深めると同時に他の家族とのふれあいを通して社会性や人間性を培います。
13	自然体験塾講座 【いきいき楽習課】	各務野自然遺産の森の「自然体験塾」を活用して、ふるさとの豊かな自然にふれながら、親子が楽しんで学習できる機会を提供します。
14	子ども対象講座 【いきいき楽習課】	さまざまな体験を通して、子どもたちが楽しく活動し、地域とのつながりを大切にできるような機会をライフデザインセンターで提供します。
15	夏休み小学生歴史教室 【歴史民俗資料館 (文化財課)】	本市の歴史について毎年テーマを決め、史跡・文化財等を探訪したり、当時の生活を再現するような体験活動を行います。
16	少年少女発明クラブ 【商工振興課】	子どもたちが創造性を発揮し、アイデアを具体的に表現する技術と能力を身につけるような機会を提供します。
17	スポーツげんき祭 (「スポーツ体験教室」) 【スポーツ課】	市体育協会の協力のもと、小学生にスポーツの楽しさを知ってもらえるよう体験の場を提供します。
18	ものづくり体験教室 【商工振興課】	ものづくりを通して、子どもたちの研究心が向上する体験の場を提供します。
19	村国座子供歌舞伎 【文化財課】	各務地区において、毎年10月の村国神社大祭で地元小学生による奉納歌舞伎を国指定文化財「村国座」で上演します。

<重点事業>

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	寺子屋事業 (基礎学力定着事業)	地域の人材を活用し、放課後学習室等を26会場で実施しました。	基礎学力の定着のほか、地域人材の活用により、学校と地域との交流を深めます。
2	寺子屋事業 (ものづくり見学事業)	自動車産業や航空機産業等、市の産業を支えるものづくりの現場を紹介するコースを9コース設定して実施しました。	航空機や自動車、自然・健康・生活産業など、市を支えるさまざまなものづくりの現場を見学することと合わせ、各社の経営者の思いを子どもたちに伝えることで、郷土愛や地域への誇りを醸成し、次代を担う人材の育成を図ります。
3	寺子屋事業 (ふるさとの歴史発見事業)	発掘体験や歌舞伎化粧体験などの講座のほか、総合的な学習などで史跡や文化財の見学を実施しました。	体験講座など、文化財や歴史資料に直接ふれる機会を提供するほか、小・中学校の授業とも積極的に連携することにより、子どもたちの郷土の歴史や文化への理解を促し、ふるさとへの誇りを醸成します。

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
4	寺子屋事業 (福祉体験学習事業)	市内にある福祉関係の施設等を訪問し、さまざまな生活の疑似体験や施設見学を実施しました。	小学生コースは、福祉について考えるきっかけとなるような体験メニューを、中学生コースは、職業や進路について考えるきっかけとなるような体験メニューを実施し、将来の福祉を担う人材の育成を図ります。

施策目標Ⅳ-② 安心・安全なまちづくりの推進

市民の声・会議の意見

- ・自転車レーンの整備など、子どもだけで行動させるのに安心な街であるとありがたい。
- ・交通マナーの悪い子どもを時々見かける。交通安全教室をしっかりとやってほしい。
- ・通学路の安全確認をお願いしたい。
- ・公園でボール遊びができる環境整備を進めてほしい。

《重点施策》 ●子育てを支援する環境の整備

- ・施策の方向性

学校施設の整備や児童が利用する通学路の整備・点検、防犯灯の設置など、子どもたちが安心・安全に過ごすことができるよう、子育てに配慮した環境の整備に努めます。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名	事業内容
1 学校施設の整備 【教育委員会総務課】	今までの学校のトイレのイメージを払拭した快適なトイレを整備します。
◎ 2 交通安全施設の整備 【建設管理課】 【道路課】	児童が利用する通学路等の整備、交差点改良整備、道路照明灯を設置します。また、防護柵、道路反射鏡の設置や、信号の設置要望も行います。
3 防犯灯の設置 【道路課】	自治会からの要望を確認し、防犯灯を設置します。
4 建築物のバリアフリー化の推進 【建築指導課】	岐阜県福祉のまちづくり条例に基づき推進します。
5 違反簡易広告物の除却 【建築指導課】	屋外広告物法及び各務原市屋外広告物条例に基づき、違法な広告物を撤去するなど、美観風致を維持し、公衆に対する危害の防止に努め、子どもや市民を取り巻く環境を整えます。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2	交通安全施設の整備	要望をもとに、現地で整備の必要性を確認しながら実施しました。 また、保育所や幼稚園等の散歩コースや小学校出入口にある横断歩道などの緊急調査・点検等を実施し、安全対策が必要な交差点などに防護柵を設置しました。 ・設置か所：27か所	各関係機関と調整等を行いながら、継続して実施します。

《重点施策》 ●子ども等の安全の確保

・施策の方向性

子どもたちを事故や犯罪などからまもるために、子どもを含む市民への交通安全、防犯の意識啓発を推進するとともに、関係機関と連携して防犯体制の充実・強化を図ります。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎1	交通安全教室 【まちづくり推進課】	保育所、幼稚園、小学校等での交通安全教室を実施し、交通ルールについての正しい知識を伝えます。
2	自転車安全教室 【まちづくり推進課】	小学校の運動場や体育館で自転車の安全な乗り方等を指導します。
3	犯罪・被害情報の提供、 地域安全活動・地域防犯活動の推進 【まちづくり推進課】	年末年始地域安全運動期間中の公用車によるパトロールの実施、年間を通じての防犯ボランティアの活動を支援します。また、警察等と連携して、警察署から入る交通事故等の情報を、関係各課等を通じて提供したり、「地域安全ニュース」を毎月配布したりするなど、市民の防犯意識高揚に努めます。
4	交通事故や事故防止情報の提供 【まちづくり推進課】	警察署から入る交通事故等の情報を、関係各課等を通じて提供します。
5	交通安全広報活動の推進 【まちづくり推進課】	四季の交通安全運動期間中に広報紙への掲載や交通安全のポスターを公共施設等に掲示し、交通安全を呼びかけます。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	交通安全教室	交通安全教室を希望する保育所、幼稚園、小学校等で実施しました。	引き続き事業を実施し、児童の交通ルールについて、正しい知識を広めます。

《重点施策》 ●遊び場の整備

・施策の方向性

公園遊具の定期的な点検・修理や、公園の新設等に併せて多目的トイレの設置を行うことで、子育て親子が遊びやすく安全な公園となるよう、環境整備を進めていきます。

<事業一覧> ◎：重点事業

事業名		事業内容
1	公園・子ども広場の整備 【河川公園課】	公園については、計画に従い順次整備していきます。子ども広場については、自治会が設置し管理を行っており、市は設置や修繕等に補助を行っています。
2	公園整備に伴う多目的トイレの整備 【河川公園課】	公園の新設やリニューアル整備等に合わせ、ベビーシート・ベビーカー等を備えた多目的トイレを整備します。
◎3	公園施設の維持管理 【河川公園課】	公園の遊具等の定期的な点検及び修理を行い、事故防止に努めています。
4	居住環境に配慮した公園の整備 【河川公園課】	公園の新設整備は、自治会とのワークショップ等により要望を取りまとめ整備に反映しています。また、整備後の維持管理については、地域住民と市が協働により安全で美しい公園を保っています。

<重点事業>

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
3 公園施設の維持管理	定期的に遊具の点検を実施しました。	継続して実施し、公園遊具の更新を進めます。

施策目標Ⅳ-③ 配慮を必要とする子どもや家庭への支援

市民の声・会議の意見

- ・安心できる、頑張ろうと思える声かけやアドバイスをしていただけたらと思う。
- ・1人ひとり違っているのが当たり前なのにまだ理解が足りないと思う。
- ・発達障がいに関して保育園、幼稚園側の理解をもっと深めてほしい。
- ・虐待を受けた子どもは自己肯定感が下がってしまい、そのことが後々の引きこもりや不登校につながりやすいのではないかと思う。

《重点施策》 ● 障がい児福祉の推進

・ 施策の方向性

障がい児とその家庭に対して、きめ細かな支援を実施するために、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との連携を強化し、障がいの早期発見からその後の療育まで切れ目のない支援を進めるとともに、その家庭に対する負担軽減のための各種支援サービスの充実を図ります。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎ 1	乳幼児発達支援推進協議会事業の充実 【子育て支援課】	障がい児と関わる職員、保育士、幼稚園教諭、保護者等に対し、講演会や指導者研修会を定期的に行い、障がい児への理解を深め、支援の充実を図ります。
◎ 2	乳幼児発達支援推進協議会事業 「すくすく応援隊事業」の充実 【子育て支援課】	保育所、幼稚園等を訪問し、ことばや社会性の発達がゆるやかな乳幼児の早期発見、支援方法の検討、個々の特徴にあった支援の提供を通じ、発達時期における切れ目のない支援を行います。
3	ことばの相談（母子保健事業） 【健康管理課】	乳幼児健康診査の結果や保護者等からの問い合わせにより、言語発達や行動面についての相談を行います。
4	自立支援・地域生活支援事業の充実 【社会福祉課】	ことばや社会性の発達がゆるやかな児童及び保護者に対して「障害者総合支援法」による自立支援・地域生活支援事業として、見まもりや外出支援などを実施します。
5	障がい児通所支援の充実 【社会福祉課】	発達支援審査会でことばや社会性の発達がゆるやかな児童を早期に発見し、その児童に対して「児童福祉法」による障がい児福祉サービスとして、日常生活や集団生活への適応指導や訓練を実施します。
6	発達相談会の実施 【学校教育課】	特別な教育的支援が必要と考えられる未就学児とその保護者を中心に、発達に関する相談会を持ち、適正な就学について専門家による相談・助言を行います。
7	特別支援教育の充実① 【学校教育課】	医師、学識経験者、臨床心理士、学校長、教員等で構成された教育支援委員会を開催し、児童生徒一人ひとりに応じた適切な指導・支援の方向性を示します。
◎ 8	特別支援教育の充実② 【学校教育課】	人づくり講師・特別支援教育アシスタントを配置し、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の教育の充実を図ります。
9	特別支援教育就学奨励費の支給 【学校教育課】	小・中学校の特別支援学級で学ぶ児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給します。
10	特別児童扶養手当の支給 【社会福祉課】	「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき手当を支給します。
11	重度障がい者医療費の助成 【医療保険課】	重度の障がいのある人に対して入院・通院分の保険診療自己負担額を助成します。
12	障害児福祉手当の支給（市） 【社会福祉課】	国の支給基準では非該当の方のうちで、在宅の重度障がい児の方に障害児福祉手当を支給します。

＜重点事業＞

事業名	令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1 乳幼児発達支援推進協議会事業の充実	職員や保護者等の障がいに関する理解を深めるため、協議会や講演会、指導者研修会を実施しました。	引き続き事業を実施し、ニーズに合った講演会、研修会等の開催により、職員、保護者の障がい児理解をさらに深めます。

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
2	乳幼児発達支援推進協議会事業 「すくすく応援隊事業」の充実	保育所、幼稚園等の施設訪問、巡回訪問、随時訪問、保護者相談等を実施し、7月からはフォローアップ巡回相談を実施しました。	継続して実施し、子ども一人ひとりの育ちをサポートします。
8	特別支援教育の充実②	特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が落ち着いて学習に取り組んだり、生活したりすることができるよう、人づくり講師・特別支援教育アシスタントを配置し、教育の充実を図りました。	支援が必要な児童・生徒に対する手厚い支援を長時間行えるような環境をつくっていきます。

《重点施策》 ● 子どもの虐待防止の強化

・ 施策の方向性

虐待やDVなどの早期発見、予防に向けた取り組みとして、訪問による援助・育児指導等を実施します。また、関係機関との連携をより一層強化し、支援体制の充実を図ります。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業 ★：利用量の見込み等の見直しが必要な事業（第5章掲載）

事業名		事業内容
1	要保護児童対策及びDV対策地域協議会の充実 【子育て支援課】	関係機関との情報交換により児童虐待も含めた、要保護児童の実態把握、サポート及び啓発運動を実施します。
★2	養育支援訪問事業 【子育て支援課】	育児支援や指導、家事援助等が必要な家庭を相談員や保健師が訪問したり、ヘルパー等を派遣したりします。
◎3	虐待の早期発見と予防に向けた取り組み及び事後支援の実施 【子育て支援課】	健康診査、訪問指導、学校、保育所、幼稚園等あらゆる機会における児童虐待の早期発見や関係機関と連携した支援を行います。
4	民生委員児童委員、主任児童委員との連携 【子育て支援課】	児童虐待の早期発見、早期対応、見まもりのために民生委員児童委員、主任児童委員との連携を図ります。
★5	子育て支援短期利用事業（ショートステイ・トワイライトステイ事業） 【子育て支援課】	保護者の事由により、家庭における養育が困難になった場合に、児童養護施設において一定の期間養育します。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
3	虐待の早期発見と予防に向けた取り組み及び事後支援の実施	実務者会議（月1回）及び必要に応じ関係機関を集めた個別のケース会議を開催し、関係機関と連携を取って支援を実施しました。	関係機関との連携をより一層強化し、虐待事案の早期発見、防止に努めます。

《重点施策》●ひとり親家庭への支援

・施策の方向性

子育て支援や生活支援、就労支援、経済的支援等の総合的な支援を実施するとともに、制度の普及を図ります。

＜事業一覧＞

事業名		事業内容
1	仲良し親子の集い 【子育て支援課】	母と子、父と子のふれあいを深めるための事業の実施と、子育てに対する意識の向上を図ります。
2	高等職業訓練促進給付金事業 【子育て支援課】	看護師などの資格を取得する際の生活を支援するため、最大4年（48カ月）ひとり親家庭の就労を支援します。
3	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 【子育て支援課】	ひとり親家庭の自立を支援するため、就職等に有利となる技能の取得に必要な講座等の受講に係る費用の一部を給付し、自立促進を図ります。
4	児童扶養手当の支給 【子育て支援課】	「児童扶養手当法」に基づき手当を支給し、生活安定と自立促進を図ります。
5	母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付 【子育て支援課】	福祉資金の貸付けにより、経済的自立と生活の安定を図ります。
6	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 【子育て支援課】	ひとり親家庭の親または児童がよりよい条件での就業や転職へつなげるために高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合、その学び直しを支援するため、給付金を支給します。
7	ひとり親家庭児童等小中学校入学祝金の支給 【子育て支援課】	小・中学校に入学する児童のいる母子家庭・父子家庭などに入学祝金を支給します。
8	母子生活支援施設の活用 【子育て支援課】	児童福祉法に基づく母子保護のための母子生活支援施設に対する入所支援です。自立可能な時期まで継続して支援します。
9	母子家庭等医療費の助成 【医療保険課】	母子家庭等の母及び児童に対して入院・通院分の保険診療自己負担額を助成します。
10	父子家庭医療費の助成 【医療保険課】	父子家庭の父及び児童に対して入院・通院分の保険診療自己負担額を助成します。
11	放課後児童健全育成事業（利用料の減免） 【教育委員会総務課】	ひとり親世帯であり、市民税非課税世帯、生活保護世帯、準保護世帯福祉医療費助成を受けている世帯の利用料を減免します。
12	保育料の軽減 【子育て支援課】	ひとり親世帯、非課税世帯等の保育料を軽減します。
13	養育費の確保の推進 【子育て支援課】 【まちづくり推進課】	市民相談窓口などにおいて養育費に関する助言を行います。また、離婚する際には事前に取り決めをしていただけるよう、養育費と面会交流に関するパンフレットを離婚届の用紙と同時に交付するなど養育費の確保を推進します。
14	ひとり親家庭への支援制度の情報提供 【子育て支援課】	児童扶養手当現況届提出時に、受給者を対象に必要な支援制度について案内します。

《重点施策》 ● 外国にルーツを持つ子どもへの支援

・ 施策の方向性

外国にルーツを持つ子どもやその保護者が安心して暮らしやすい環境を整えるため、日本語指導や学校への適応指導の充実を図るとともに、広報紙や各種申請書等の多言語化等を実施します。

<事業一覧>

事業名		事業内容
1	Futuro 教室の運営 【学校教育課】	日本の学校に通ったことがないなど、日本語の習得が十分でない外国人児童生徒に対して、日本語の初期指導や学校への適応指導を集中的に行います。
2	広報紙や申請書等の 多言語化 【全庁対応】	広報紙やごみ出しガイドブック、母子手帳、申請書等の多言語化を実施し、外国籍の方にわかりやすい情報提供等を行います。
3	外国籍の子どもに対する 保育所等での配慮 【子育て支援課】	ことばがわからない児童に対し、保育の中に写真や絵カード等を取り入れたり、翻訳アプリを使用したりすることで、児童が安心して過ごすことができる環境を整備します。



基本目標Ⅴ 子育てと仕事の両立のための支援

女性の社会進出が進むなど、ライフスタイルが多様化する中で、子育てと仕事の両立支援が大きな課題のひとつになっています。特に、女性は就労を希望しながらも、仕事と育児を両立させるための条件等が合わず、出産を機に退職することも多いことから、出産後も働き続けることができる職場環境等の構築や再就職のための支援が求められています。

働きながら安心して子育てができる環境をつくるためには、子育て支援事業の充実を図るとともに、家庭と職場、社会の理解が重要となることから、男女が共に子育てに取り組む意識の向上に努めます。

施策目標Ⅴ-① 子育てと仕事の両立支援

市民の声・会議の意見

- ・両親そろって子育てに参加できるように、職場へ働きかけて早く帰宅できるようにしてほしい。
- ・働く会社での育児休業や短時間勤務への理解、育児休業中の収入の保証が必要だと感じる。
- ・0～3才児の父親が家庭をサポートできるように、企業・社会側からも働きかけてほしい。
- ・子どもが病気になったとき、職場の人の理解もないと両立するのは難しい。
- ・男性の育児参加（家事参加）が当たり前になるようになればうれしい。

《重点施策》 ● 子育てと仕事の両立のための環境整備

・ 施策の方向性

子育てを行いながら自分らしい働き方ができるように、再就職支援セミナーの実施やハローワークと連携し情報提供を行う等、求職者に対し支援をします。

<事業一覧>

	事業名	事業内容
1	両立支援事業の促進 (再就職準備講座の広報) 【まちづくり推進課】 【商工振興課】	子育てなどで一時的に就業を中断した女性の再就業などを支援するセミナーの開催や情報提供を行います。 労働雇用関係団体が実施する就職支援事業について、広報紙によるPRや情報提供を行います。
2	ハローワークとの連携 【商工振興課】	ハローワークと連携して求人情報の提供等、求職者に対し支援をします。

《重点施策》 ● 男女が共に子育てに取り組む意識の啓発

・ 施策の方向性

子育て（家庭）と仕事を両立するために、家庭・企業・社会の性別による固定的な役割分担意識の改善と企業による子育てしやすい就労環境づくりが推進されるよう、子育て支援に対する意識啓発に努めます。

＜事業一覧＞ ◎：重点事業

事業名		事業内容
◎ 1	男女が共に輝く都市づくり啓発（意識の普及） 【まちづくり推進課】	仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の周知や性別による固定的な役割分担意識の改善を図るため、広報紙や講座等による啓発を行います。
2	子育て支援企業紹介 【子育て支援課】	育児短時間勤務や育児休暇制度等企業の子育て支援事業を紹介し、より多くの企業が仕事と育児の両立支援に取り組むことを推進します。

＜重点事業＞

事業名		令和元年度の実施状況	令和6年度に向けての取り組み
1	男女が共に輝く都市づくり啓発（意識の普及）	広報紙や講座等による啓発活動を実施しました。 ・男女共同参画講座：2回開催	ワーク・ライフ・バランスの促進や性別による固定的な役割分担意識を改善するため、啓発機会の充実を図ります。

3 ライフステージに合わせた子育て支援事業

ライフステージに合わせて、妊娠・出産から切れ目のない支援の推進を行っています。

胎児期(妊娠)	乳 児	幼 児	小学生	中学生
				
<p>つなぐ (公助) 子育て家庭と子育て支援サービスをつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> 胎児期(妊娠) <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健康相談事業 ・母と子の健康相談(保健、栄養、発達の各種相談事業) ・マタニティ広場事業 ・妊婦健康診査事業 乳 児 <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業 ・乳児保育事業 ・乳幼児健診事業 ・予防接種事業 ・家庭訪問事業 ・ふれあい絵本デビュー事業 ・子ども館運営事業 ・2歳児歯科教室 ・のびのび測定 ・幼児フッ素塗布 ・ファミリー・サポート・センター事業(産後お助け隊) ・新生児聴覚検査助成事業 ・訪問指導事業 ・家庭児童相談事業 幼 児 <ul style="list-style-type: none"> ・通常保育事業 ・乳児保育事業 ・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・病児・病後児保育事業 ・障がい児保育事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・子ども館運営事業 ・すくすく子育て広場 ・幼稚園の子育て支援事業 ・家庭児童相談事業 小学生 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業 ・放課後子ども教室事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・心の教室 ・不登校相談 ・「あすなる教室」での相談及び適応指導の実施 ・非行防止活動活性化事業(少年センターでの電話相談、面接相談) ・寺子屋事業 ・家庭児童相談事業 中学生 <ul style="list-style-type: none"> ・心の教室 ・不登校相談 ・「あすなる教室」での相談及び適応指導の実施 ・非行防止活動活性化事業(少年センターでの電話相談、面接相談) ・寺子屋事業 ・家庭児童相談事業 				
<p>まなぶ (自助) 子育ての大切さやノウハウを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 胎児期(妊娠) <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ広場事業 乳 児 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 幼 児 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 小学生 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 中学生 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 				
<p>かかわる (共助) 地域みんなで子ども・子育てに関わる</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳 児 <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは赤ちゃん訪問事業 幼 児 <ul style="list-style-type: none"> ・「親子サロン」運営支援 ・子育てサークル ・子育てボランティア「ばあば・じいじとあそぼう」 小学生 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路ふれあい活動事業の支援 ・子ども食堂支援事業 中学生 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂支援事業 				

4 貧困世帯の子どもへの支援（子どもの貧困対策計画）

（1）子どもの貧困対策に関する国の動向

国では、平成 26 年 1 月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を施行し、同年 8 月に「子供の貧困対策に関する大綱」を策定しました。令和元年 6 月には「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の一部が改正され、市町村に対して子どもの貧困対策についての計画を定めるよう努める旨が規定されました。

そして、同年 11 月新たに「子供の貧困対策に関する大綱」が策定されました（「子供の貧困対策に関する大綱」（平成 26 年 8 月閣議決定）は廃止）。「現在から将来にわたり、全ての子どもたちが夢や希望を持てる社会を目指す」「子育てや貧困を家庭のみの責任とせず、子どもを第一に考えた支援を包括的・早期に実施する」という目的の達成のために、「親の妊娠・出産期から子どもの社会的自立までの切れ目のない支援」や「支援が届かない又は届きにくい子ども・家庭への配慮」「地方公共団体による取組の充実」等の基本的な方針が明記されました。

（2）市における子どもの貧困対策について

本市では、上記を踏まえ、平成 30 年度に実施した「各務原市子ども調査」の結果を参考に、「各務原市子どもの貧困対策計画」を策定し、第 2 期各務原市子ども・子育て支援事業計画の一部として組み込むこととしました。国の大綱と整合性を図りつつ、本市の子どもの貧困対策に資する取り組みについて改めて整理し、施策を総合的に推進していきます。

（3）各務原市子ども調査

本市に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、子どもの成長や夢、希望、日々の生活などにどのように影響を与えているか調査し、今後の子育て施策を検討することを目的に「各務原市子ども調査」を平成 30 年 9 月に実施しました。

① 調査概要

調査対象	各務原市内の市立小学校 17 校、市立中学校 8 校に通う小学 1 年生の保護者、小学 5 年生の保護者と児童、中学 2 年生の保護者と生徒の全員
調査方法	各学校を通じて、子ども及び保護者に配布し、郵送で回収
調査期間	平成 30 年 9 月 25 日～10 月 15 日まで

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

② 調査票の配布・回収状況

調査票名	配布数	有効回答数	有効回答率
小学1年生 保護者票	1,291 件	722 票	55.9%
小学5年生 子ども票	1,443 件	652 票	45.2%
小学5年生 保護者票	1,443 件	650 票	45.0%
中学2年生 子ども票	1,331 件	525 票	39.4%
中学2年生 保護者票	1,331 件	529 票	39.7%
合 計	6,839 件	3,078 票	45.0%

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

③ 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

④ 子どもの貧困率の算出方法

本調査では、国民生活基礎調査※の算出方法を参考に、世帯1人あたりの収入額が平成28年の同調査における中央値の2分の1である122万円（貧困線）を下回る世帯を貧困世帯と定義し、貧困線に満たない子どもの割合を「子どもの貧困率」として算出しました。

※国民生活基礎調査…厚生労働省が「統計法」に基づいて昭和61年から毎年実施している調査。3年に一度、要介護者の状況や世帯の所得に関することなどについて、大規模な調査を実施し、間の各年は簡易な調査を実施するもの。

(4) 本市の子どもの貧困の状況

① 本市の子どもの貧困率

(3) ④で示した方法により算出した本市の「子どもの貧困率」は6.7%でした。学年ごとにみると、小学1年生は7.9%、小学5年生は6.4%、中学2年生は5.5%となっています。

なお、平成28年国民生活基礎調査では、国の子どもの貧困率は13.9%とされています。調査対象や調査の方法等が異なるため単純に比較することはできませんが、各務原市の「子どもの貧困率」は、平成28年国民生活基礎調査よりも低くなっています。また、平成30年度に岐阜県が実施した「子ども調査」では、県内の子どもの貧困率は7.2%であり、県全体よりも低い水準となっています。

② 所得による分類

貧困率の算出の際に求めた各世帯の等価可処分所得[※]から、4つの所得区分に分類しました。各学年とも1人あたりの世帯収入が比較的所得が高い所得区分Ⅳが最も多く、学年が上がるにつれて、所得区分Ⅳの割合は高くなる傾向がみられます。

※等価可処分所得…世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得

【学年別所得区分】

単位：%

	所得区分Ⅰ ^{※1}	所得区分Ⅱ ^{※2}	所得区分Ⅲ ^{※3}	所得区分Ⅳ ^{※4}	未回答
小1	7.9	19.8	23.4	44.2	4.7
小5	6.4	20.9	19.7	46.2	6.8
中2	5.5	19.6	17.4	52.5	5.0
全体	6.7	20.1	20.4	47.2	5.6

※1 所得区分Ⅰ：122万円（貧困線）未満の世帯

※2 所得区分Ⅱ：183万円（Ⅰの1.5倍）未満の世帯

※3 所得区分Ⅲ：244万円（Ⅰの2倍）未満の世帯

※4 所得区分Ⅳ：244万円（Ⅰの2倍）以上の世帯

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

③ 父母の有無と所得区分

母親または父親のいない「ひとり親世帯」は、7.0%となっており、そのうち母親のみの世帯が5.8%となっています。学年ごとにみると、小学1年生は5.7%、小学5年生は6.7%、中学2年生は4.7%となっています。

【学年別世帯状況】

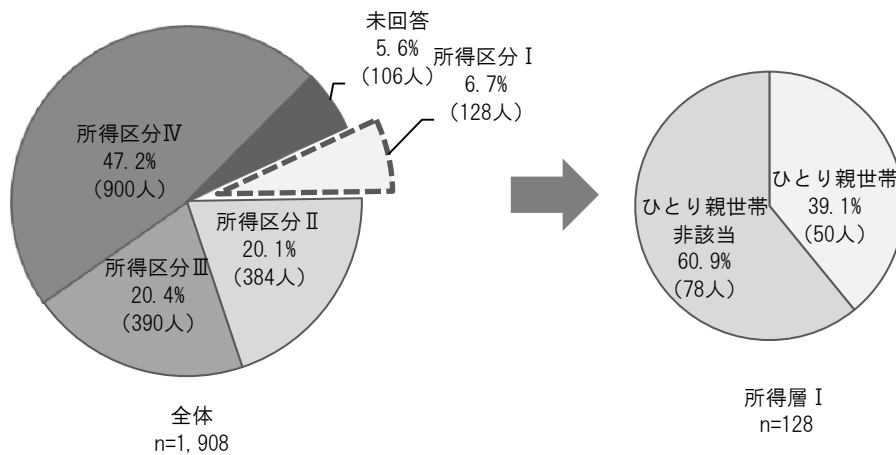
単位：%

	ひとり親世帯			ひとり親世帯 非該当
	父親のみ	母親のみ	ひとり親世帯 全体	
小1	1.1	5.7	6.8	93.2
小5	0.9	6.7	7.6	92.4
中2	1.5	4.7	6.2	93.8
全体	1.2	5.8	7.0	93.1

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○父母の有無と所得区分の関係をみると、所得区分Ⅰに該当する世帯のうち、ひとり親世帯の割合は39.1%となっています。

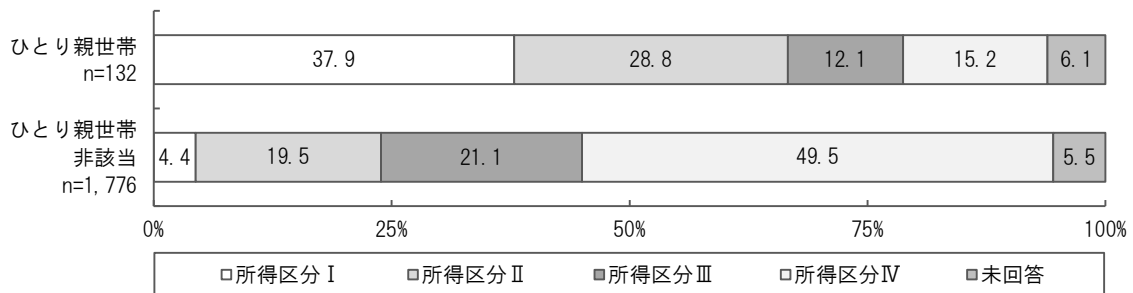
【父母の有無と所得区分の状況】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○ひとり親世帯のうち、所得区分Ⅰ～Ⅲの世帯は、「ひとり親世帯非該当」の約1.8倍となっています。

【ひとり親世帯・ひとり親世帯非該当の所得による内訳】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

④ 調査結果からみる所得区分Ⅰとひとり親の状況

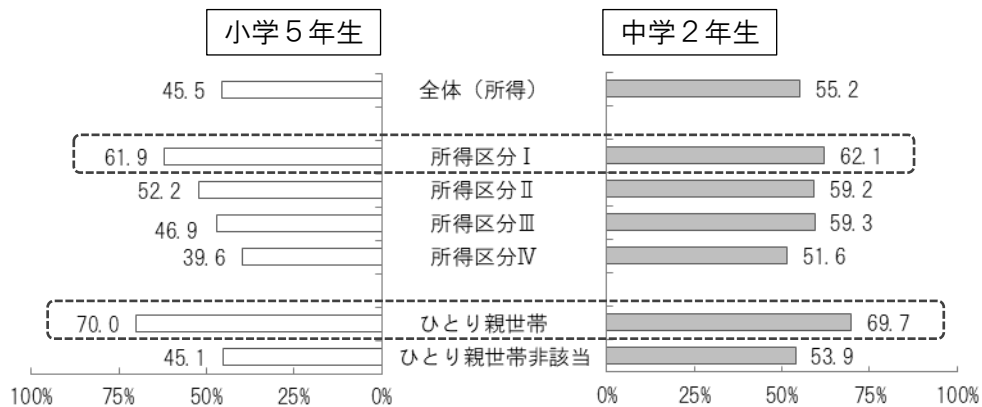
所得区分Ⅰの約4割がひとり親世帯であり、ひとり親世帯の約8割が所得区分Ⅰ～Ⅲであることから、ひとり親世帯への支援が必要であると考えられます。

以下のように所得区分Ⅰとひとり親世帯の状況について分析しました。

I 子どもの学習

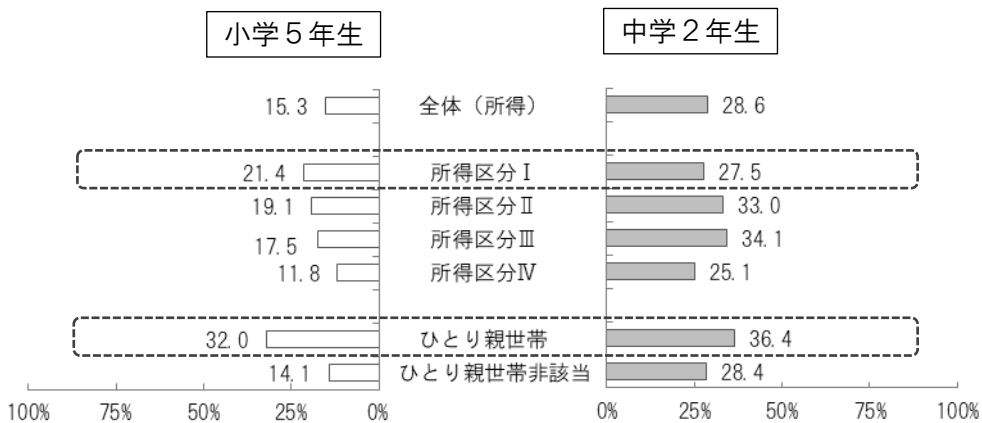
○授業の理解度をみると、小学5年生、中学2年生いずれも学校の授業が「いつもわからない」「ときどきわからない」と感じている子どもがやや多くなっています。

【授業の理解度「いつもわからない」+「ときどきわからない」(子ども)】



○クラス内での成績をみると、自分の成績を下位に評価する割合が高くなっています。特に小学5年生のひとり親世帯で、自分の成績を下位に評価する割合はひとり親世帯非該当の約2倍となっています。

【クラス内での成績「やや下のほう」+「下のほう」(子ども)】

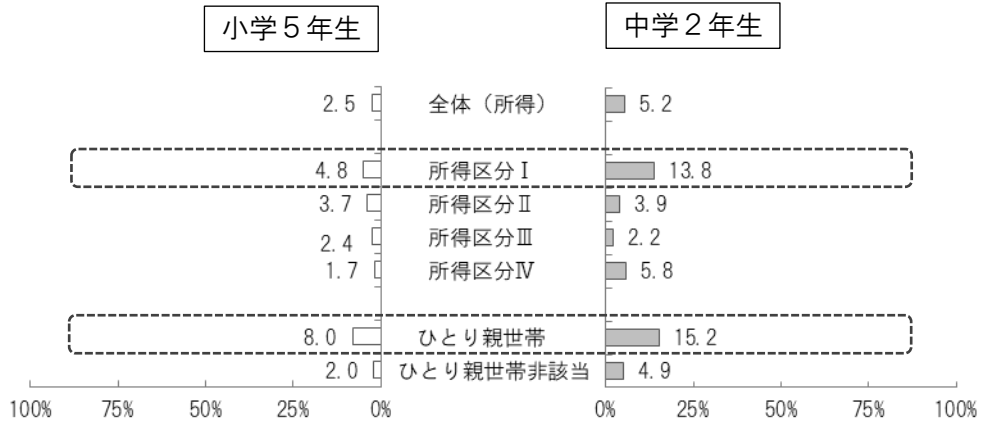


※母数：(所得区分Ⅰ 小学5年生n=42、中学2年生n=29)、(所得区分Ⅱ 小学5年生n=136、中学2年生n=103)(所得区分Ⅲ 小学5年生n=126、中学2年生n=91)、(所得区分Ⅳ 小学5年生n=303、中学2年生n=275)(ひとり親世帯 小学5年生n=50、中学2年生n=33)、(ひとり親世帯非該当 小学5年生n=602、中学2年生n=492)

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○学校以外での勉強時間をみると、1日の勉強時間（塾含む）はやや少なくなっています。特に小学5年生のひとり親世帯で、学校以外での勉強を「まったくしない」の割合はひとり親世帯非該当の4倍、中学2年生のひとり親世帯ではひとり親世帯非該当の約3倍となっています。

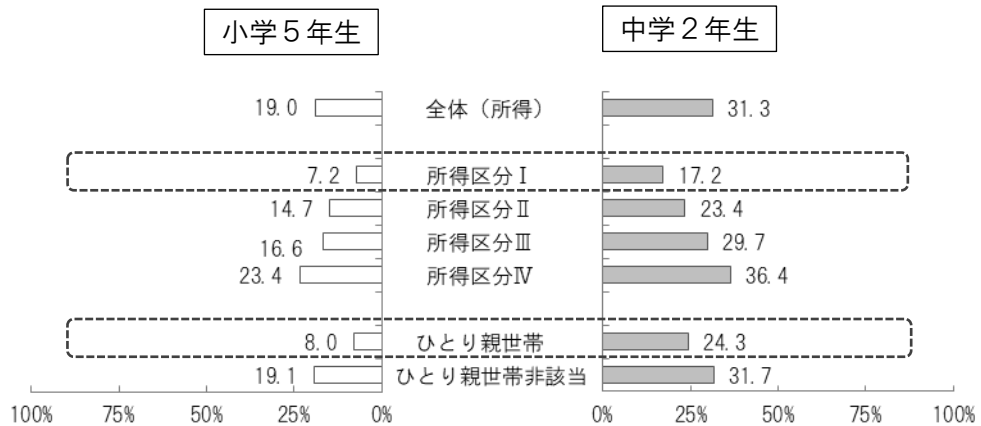
【学校以外での勉強時間「まったくしない」(子ども)】



○小学5年生の所得区分Iで2時間以上勉強する割合は、全体の約3分の1となっています。

○小学5年生のひとり親世帯で2時間以上勉強する割合は、ひとり親世帯非該当の約2分の1となっています。

【学校以外での勉強時間「2時間以上、3時間より少ない」+「3時間以上」(子ども)】

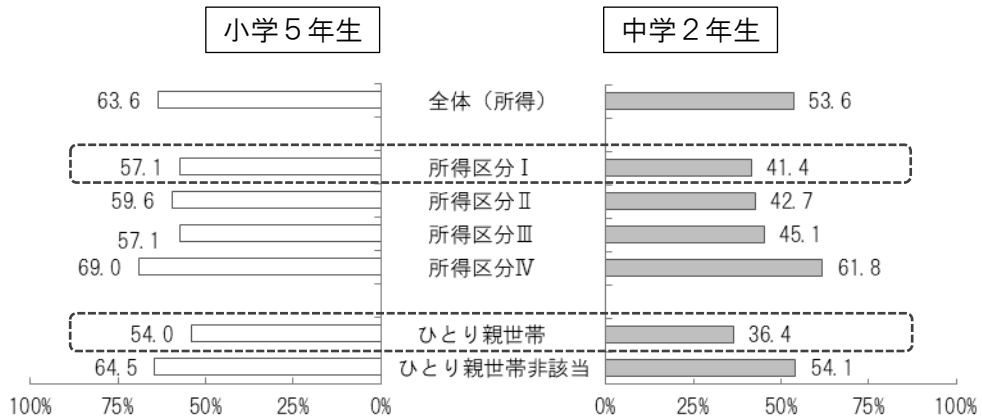


※母数：(所得区分I 小学5年生 n=42、中学2年生 n=29)、(所得区分II 小学5年生 n=136、中学2年生 n=103) (所得区分III 小学5年生 n=126、中学2年生 n=91)、(所得区分IV 小学5年生 n=303、中学2年生 n=275) (ひとり親世帯 小学5年生 n=50、中学2年生 n=33)、(ひとり親世帯非該当 小学5年生 n=602、中学2年生 n=492)

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○希望する子どもの進学先をみると、小学5年生、中学2年生いずれも「大学まで」を選択する割合が全体よりやや低くなっています。

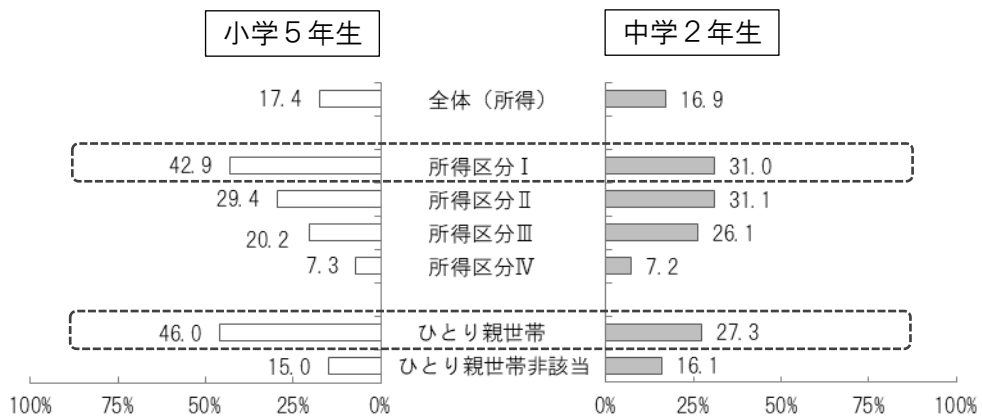
【希望する進学先「大学まで」(子ども)】



※母数：(所得区分Ⅰ 小学5年生 n=42、中学2年生 n=29)、(所得区分Ⅱ 小学5年生 n=136、中学2年生 n=103)、(所得区分Ⅲ 小学5年生 n=126、中学2年生 n=91)、(所得区分Ⅳ 小学5年生 n=303、中学2年生 n=275)、(ひとり親世帯 小学5年生 n=50、中学2年生 n=33)、(ひとり親世帯非該当 小学5年生 n=602、中学2年生 n=492)

○「大学までの教育」についてみると、「経済的に受けさせられない」割合が全体を大きく上回っています。

【子どもに受けさせたい教育「大学・大学院」の理由として「経済的に受けさせられない」と回答(保護者)】



※母数：(所得区分Ⅰ 小5保護者 n=42、中2保護者 n=29)、(所得区分Ⅱ 小5保護者 n=136、中2保護者 n=103)、(所得区分Ⅲ 小5保護者 n=129、中2保護者 n=92)、(所得区分Ⅳ 小5保護者 n=303、中2保護者 n=278)、(ひとり親世帯 小5保護者 n=50、中2保護者 n=33)、(ひとり親世帯非該当 小5保護者 n=600、中2保護者 n=496)

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

課題・分析

自己の学習への評価が低く、学校以外での勉強時間に差がみられます。また、経済的問題により子どもの進学先への影響がうかがわれます。

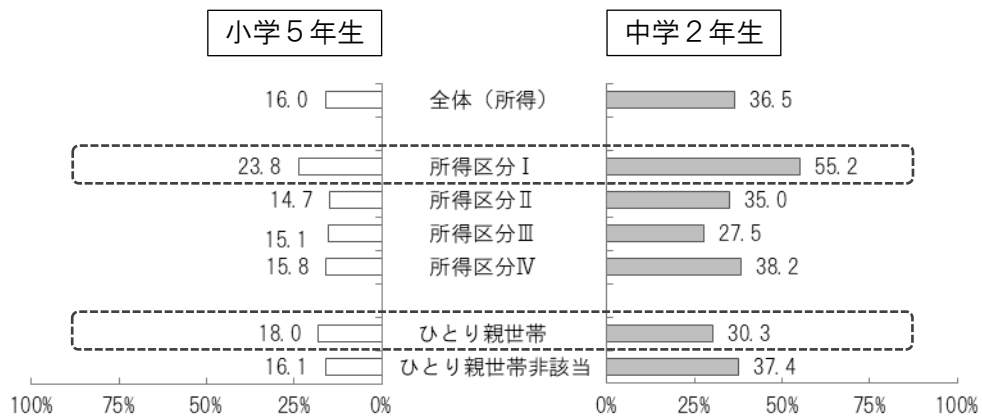
Ⅱ 子どもの生活・健康

○朝食の状況をみると、小学5年生の所得区分Ⅰでは平日に朝食をひとりで食べる割合が全体を上回っています。

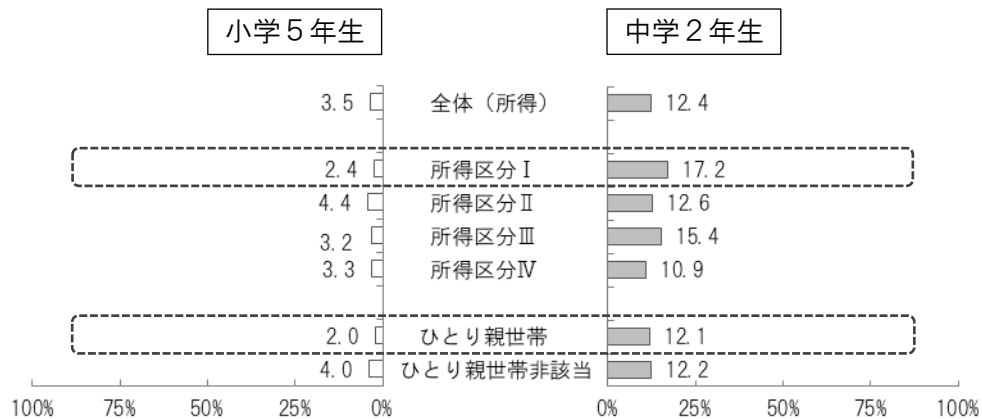
○中学2年生の所得区分Ⅰでは、平日の朝食・夕食、休日の朝食・夕食をひとりで食べる割合が全体を上回っています。

○小学5年生のひとり親世帯では、平日の朝食をひとりで食べる割合がひとり親世帯非該当を上回っています。一方で、小学5年生のひとり親世帯の平日の夕食、休日の朝食・夕食及び中学2年生のひとり親世帯の平日の朝食・夕食、休日の朝食・夕食をひとりで食べる割合はひとり親世帯非該当を下回っています。

【平日の朝食の状況「ひとりで食べる」(子ども)】



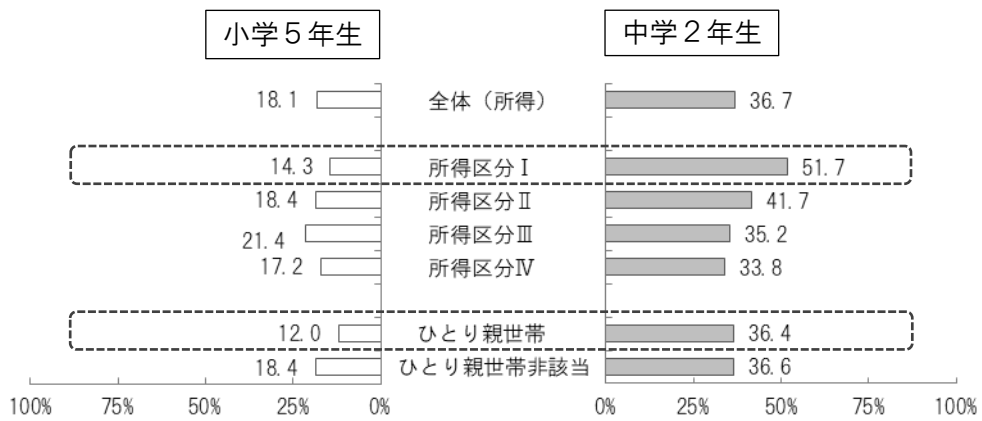
【平日の夕食の状況「ひとりで食べる」(子ども)】



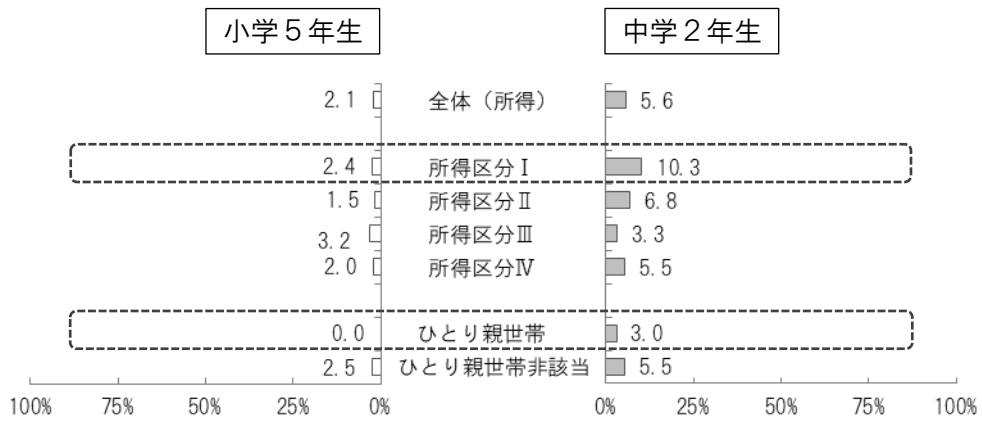
※母数：(所得区分Ⅰ 小学5年生n=42、中学2年生n=29)、(所得区分Ⅱ 小学5年生n=136、中学2年生n=103)(所得区分Ⅲ 小学5年生n=126、中学2年生n=91)、(所得区分Ⅳ 小学5年生n=303、中学2年生n=275)(ひとり親世帯 小学5年生n=50、中学2年生n=33)、(ひとり親世帯非該当 小学5年生n=602、中学2年生n=492)

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

【休日の朝食の状況「ひとりで食べる」(子ども)】



【休日の夕食の状況「ひとりで食べる」(子ども)】

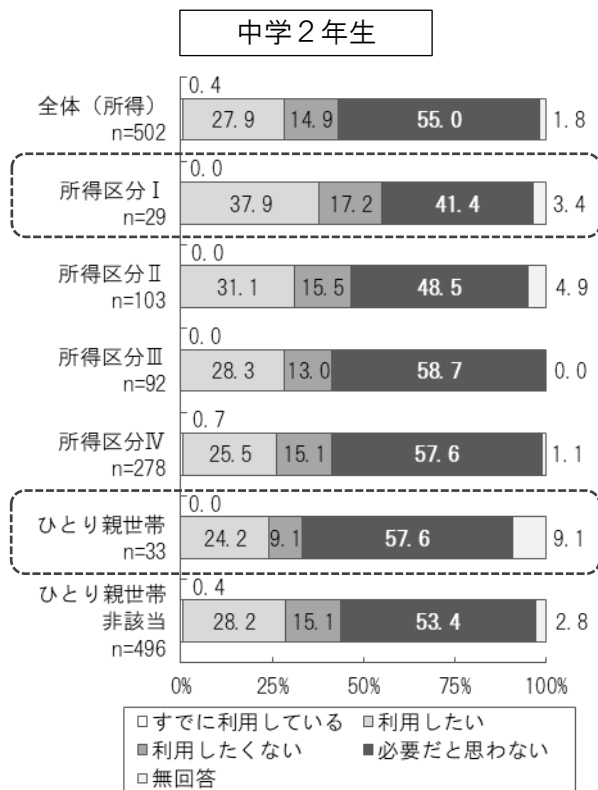
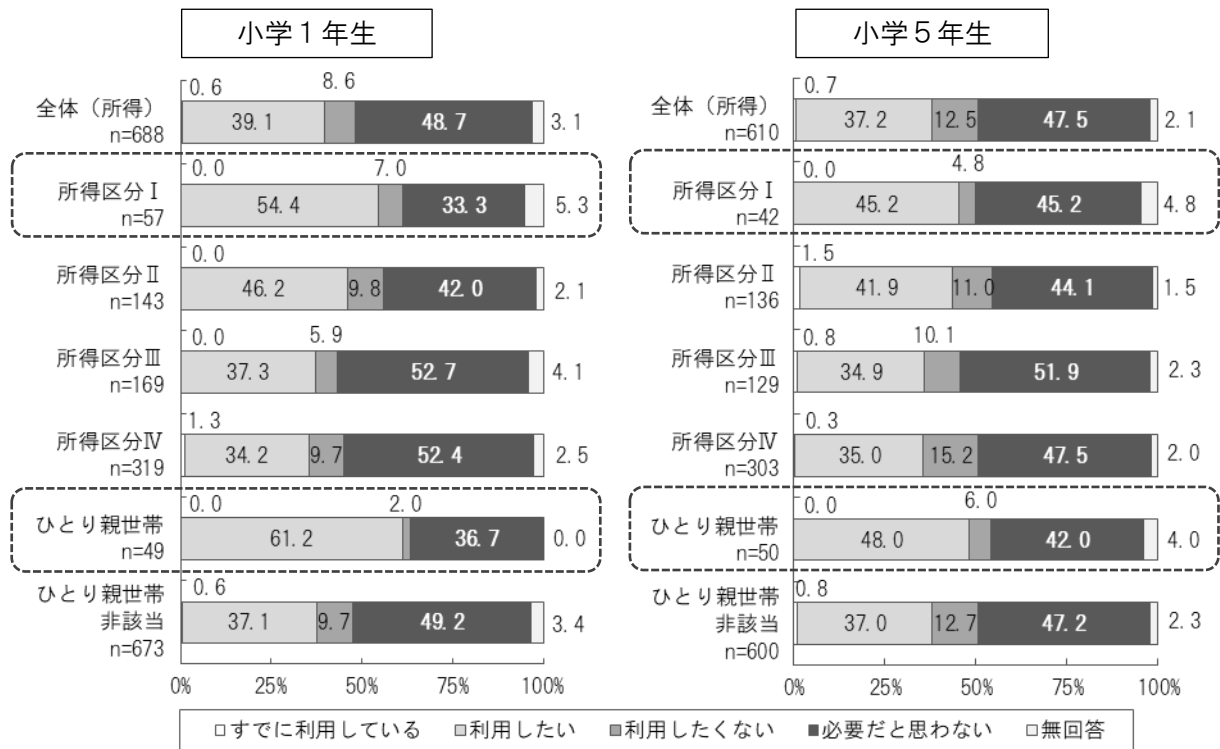


※母数：(所得区分Ⅰ 小学5年生 n=42、中学2年生 n=29)、(所得区分Ⅱ 小学5年生 n=136、中学2年生 n=103) (所得区分Ⅲ 小学5年生 n=126、中学2年生 n=91)、(所得区分Ⅳ 小学5年生 n=303、中学2年生 n=275) (ひとり親世帯 小学5年生 n=50、中学2年生 n=33)、(ひとり親世帯非該当 小学5年生 n=602、中学2年生 n=492)

出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○制度の利用意向をみると、子ども食堂を利用したい割合は、中学2年生保護者のひとり親世帯を除いて全体を上回っています。

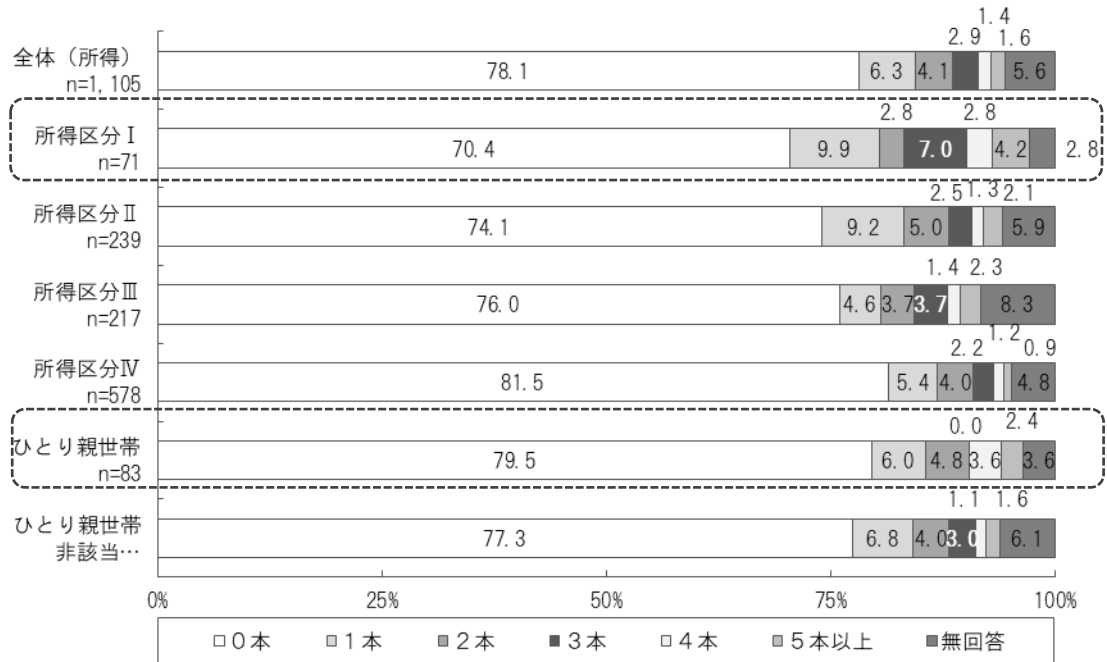
【制度の利用意向「子ども食堂」(保護者)】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○虫歯の本数についてみると、所得区分Ⅰでは、「1本以上ある」割合がやや高くなっています。

【虫歯の本数回答（子ども）】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

課題・分析

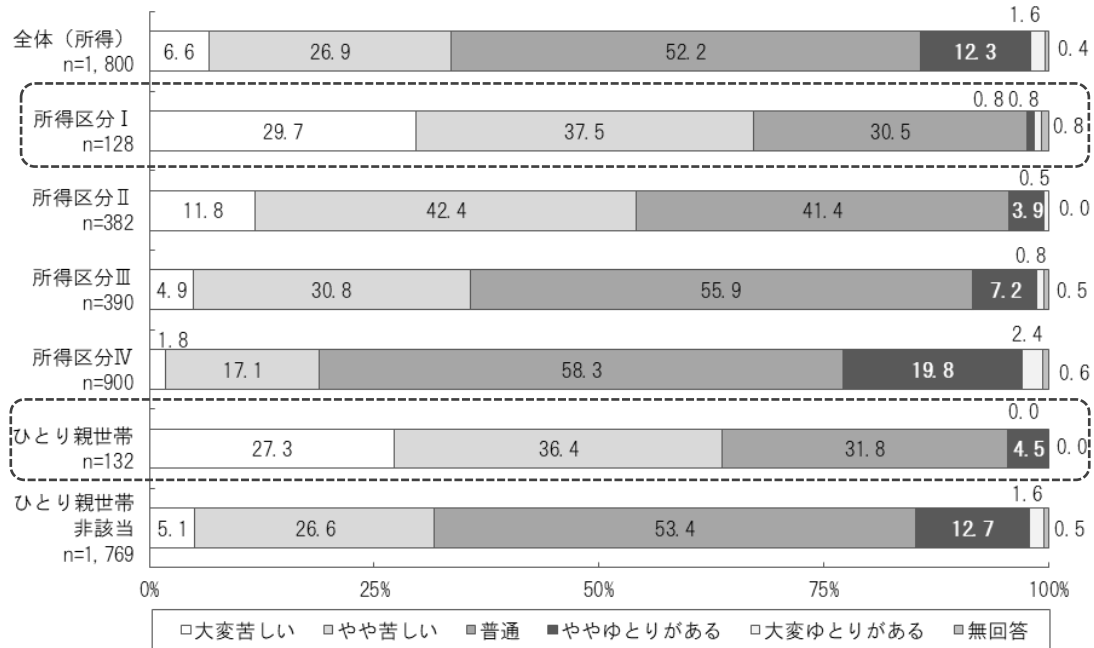
所得が低い世帯ほど、孤食等の食習慣による子どもの孤立がうかがわれます。また、中学2年生になると、孤食となる割合がより大きくなっています。

食に関する子どもとの関わりが少ないことが子どもの虫歯にも影響を与えている可能性が考えられます。

Ⅲ 保護者の就労・経済的問題

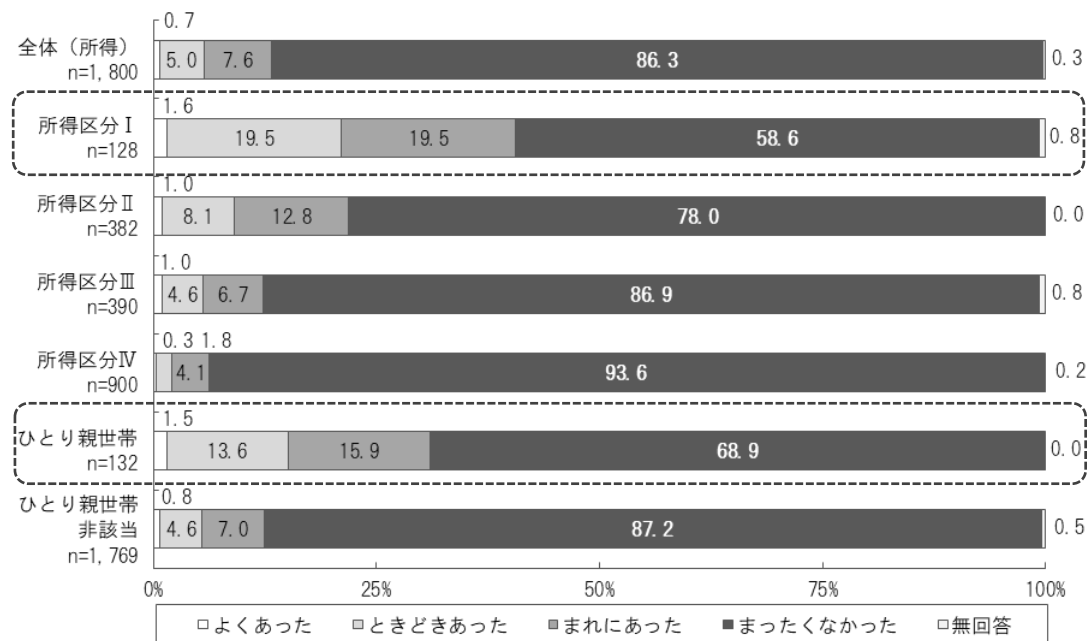
○現在の暮らしの状況についてみると、「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が全体を大きく上回っています。

【現在の暮らしの状況回答（保護者）】



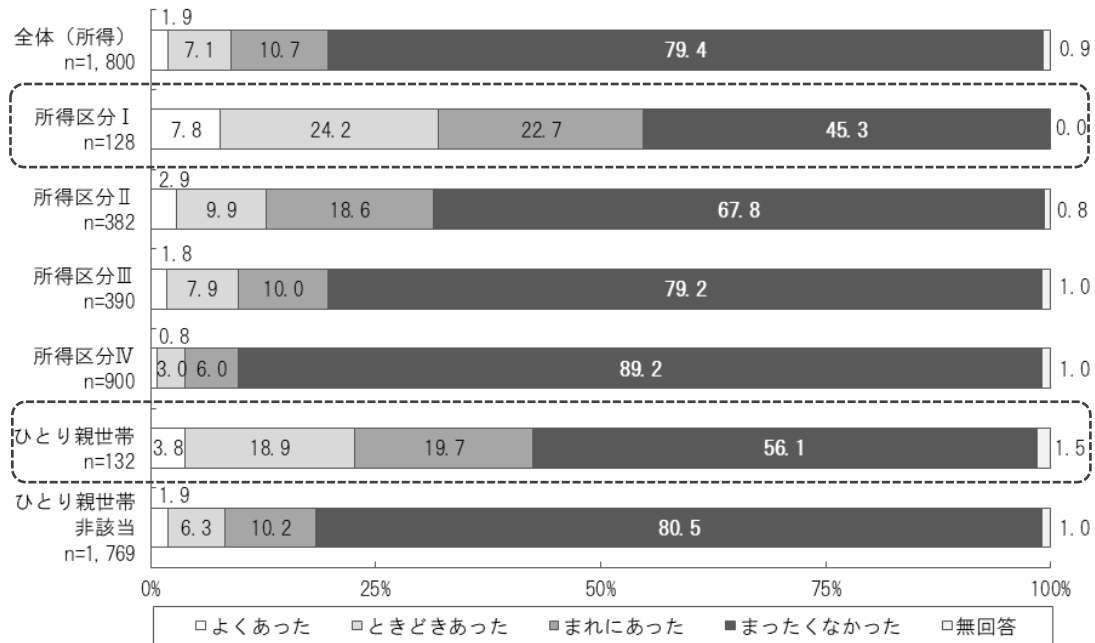
○食料品、衣料品が買えなかった経験についてみると、「よくあった」「ときどきあった」割合が高くなっています。

【食料品が買えなかった経験（保護者）】



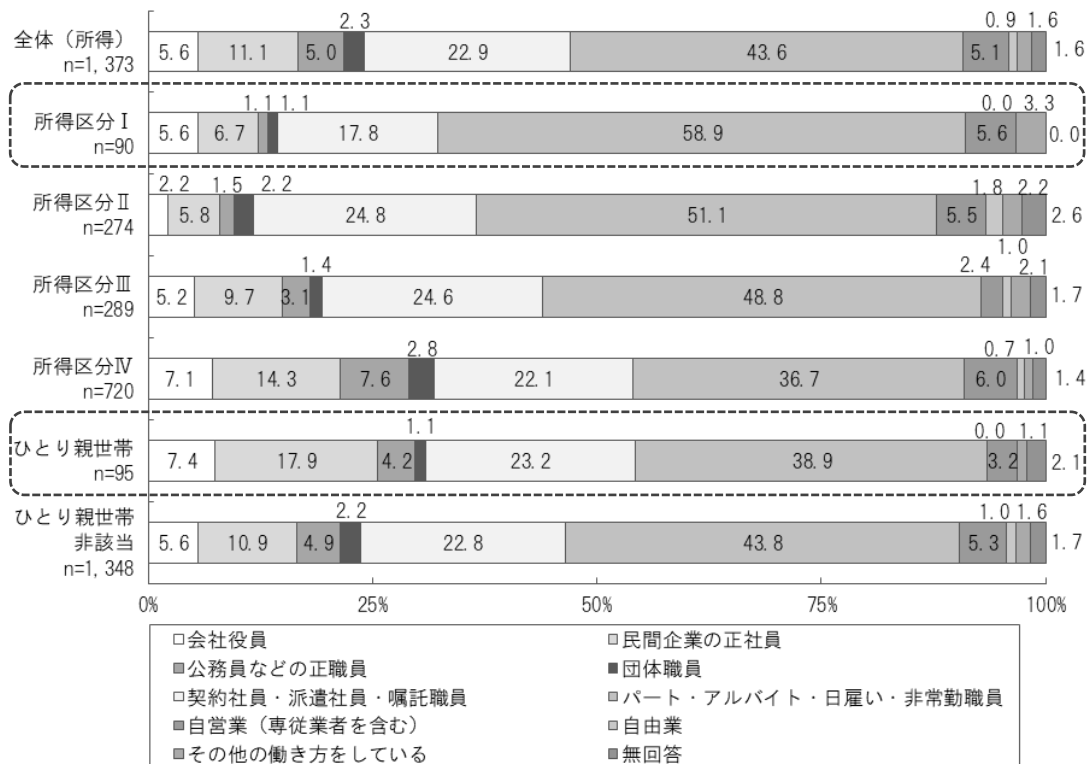
出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

【衣料品が買えなかった経験（保護者）】



○母親の就労についてみると、所得区分Ⅰでは「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合がやや高くなっています。

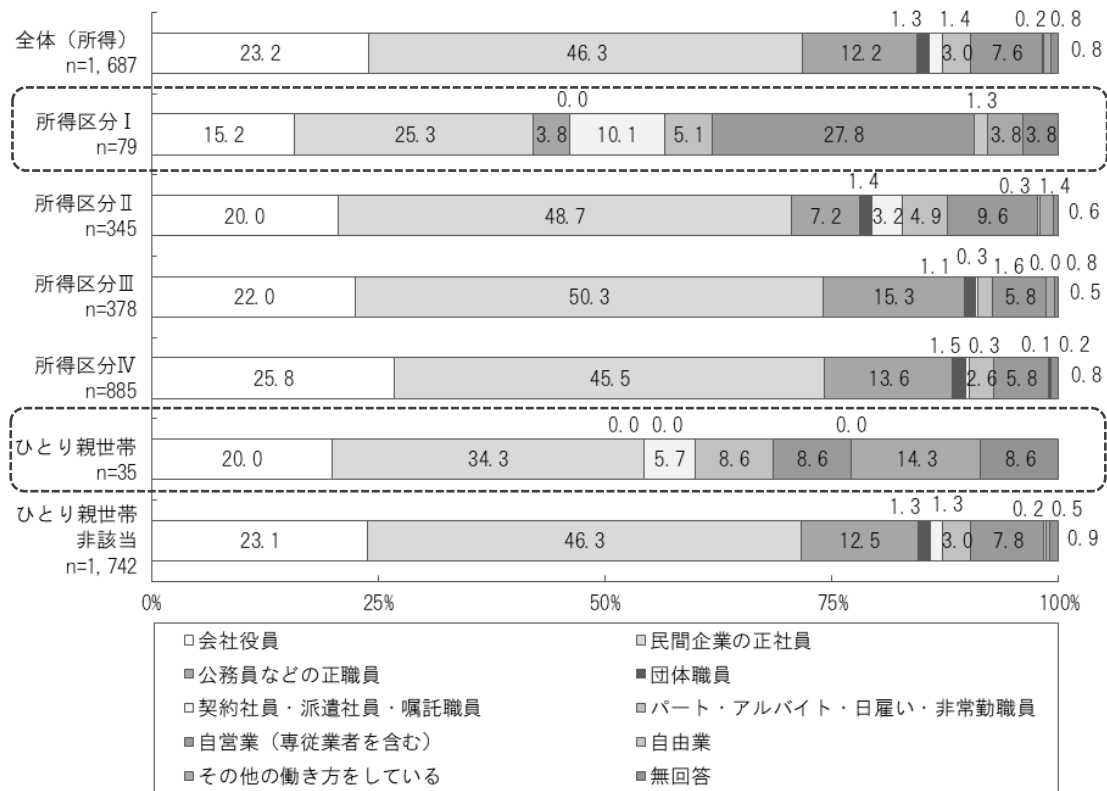
【保護者の職業【母親】（保護者）】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○父親の就労についてみると、所得区分Ⅰでは「民間企業の正社員」の割合が低く、「契約社員・派遣社員・嘱託職員」「自営業」の割合が高くなっています。

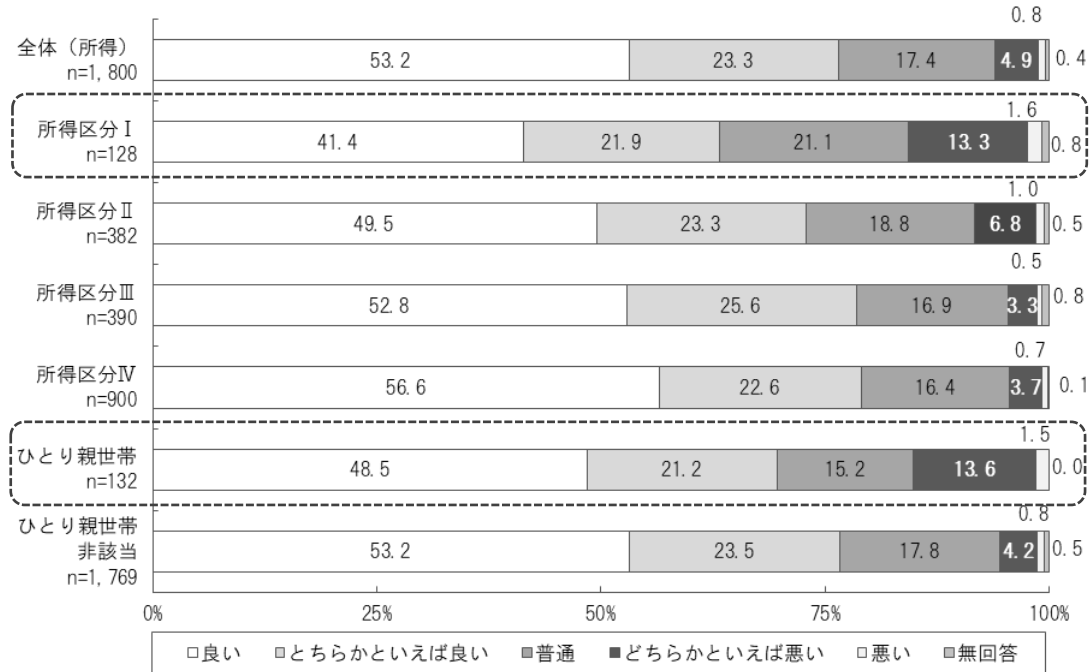
【保護者の職業【父親】（保護者）】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

○保護者の健康状態をみると、所得が低いほど「どちらかといえば悪い」「悪い」の割合が高くなっています。ひとり親世帯についても、「どちらかといえば悪い」「悪い」割合が高くなっています。

【健康状態（保護者）】



出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

課題・分析

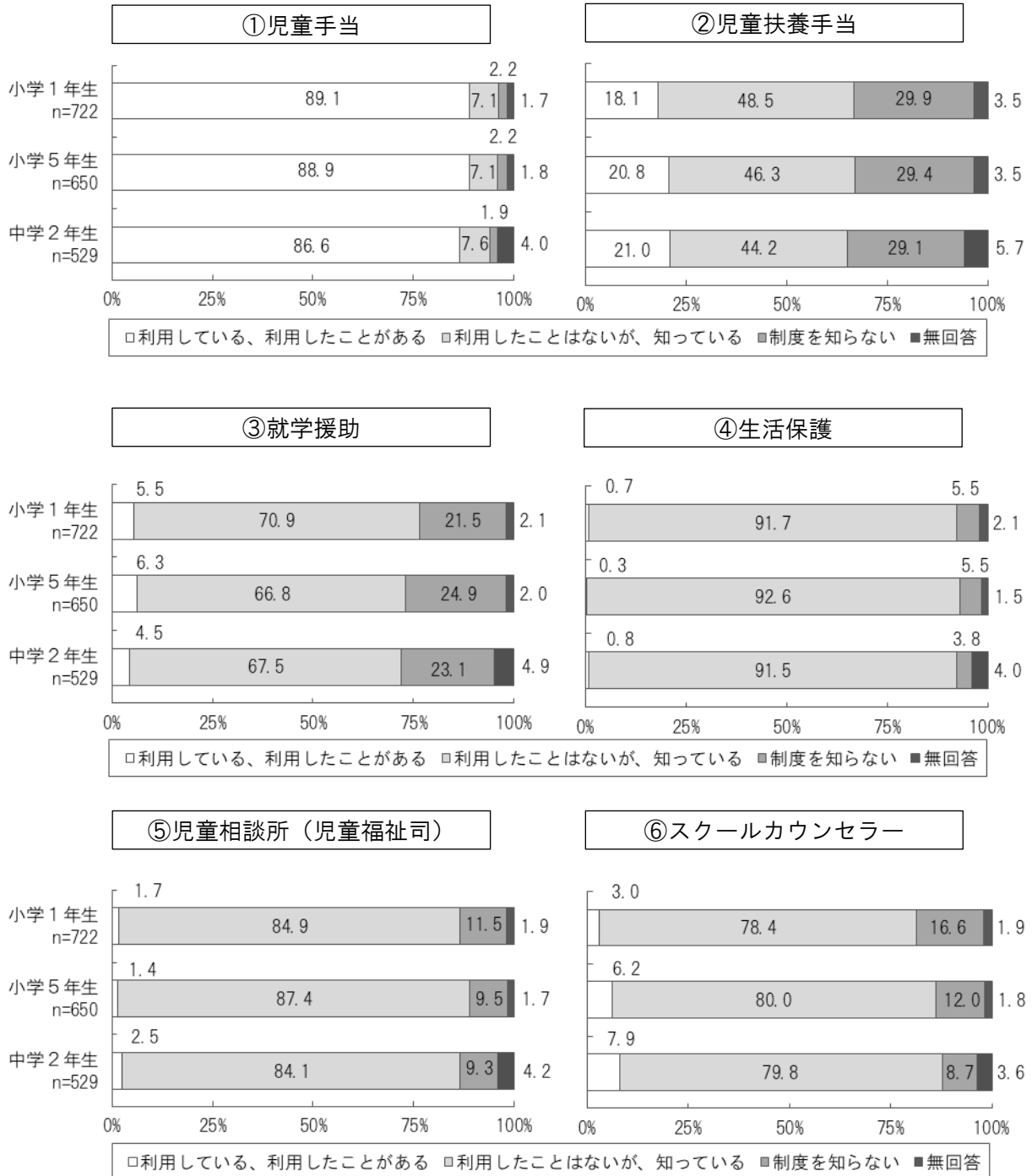
食料品や衣料品が購入できなかった経験の要因のひとつとして、就労の不安定さが考えられます。

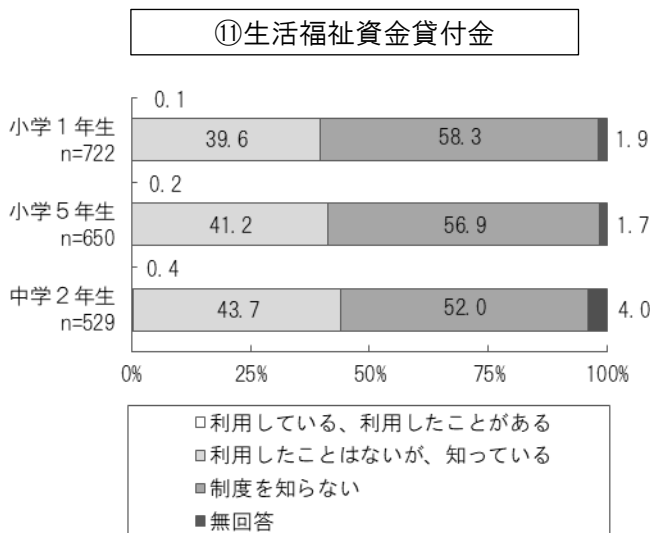
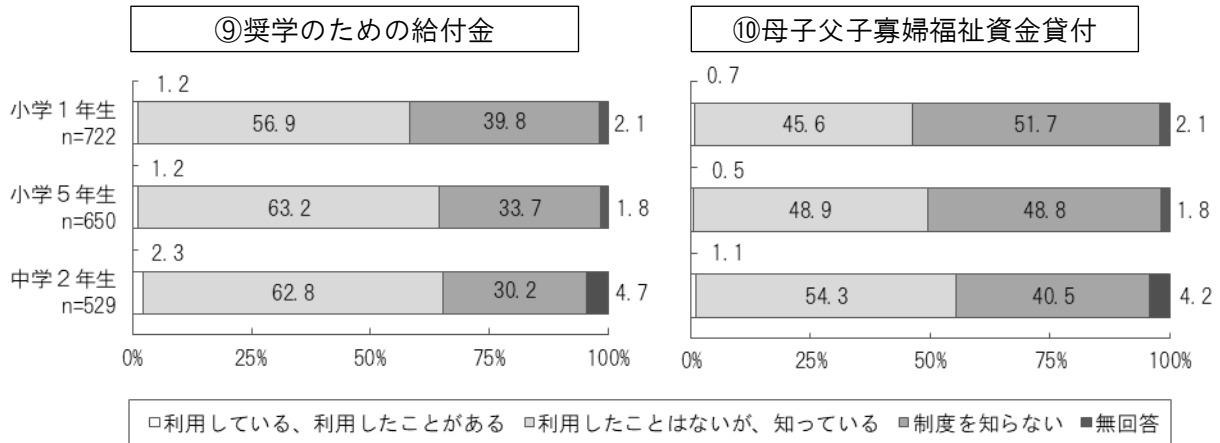
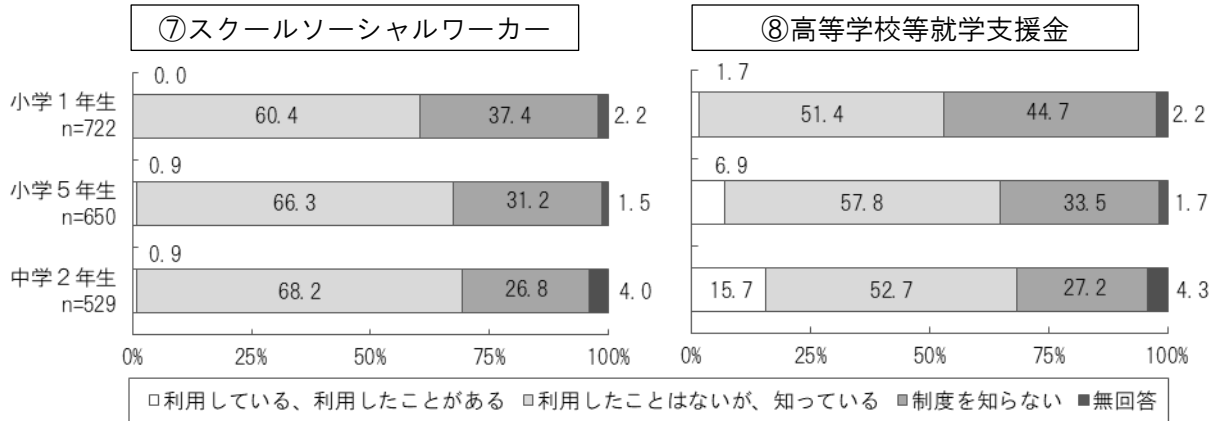
また、「保護者の健康状態がよくない」ことが、就労の不安定さにつながる可能性も考えられます。

⑤ 制度の利用意向

○各公的制度の利用状況、認知度についてみると、就学援助、生活保護、児童相談所、スクールカウンセラーの認知度は高くなっていますが、母子父子寡婦福祉資金貸付金の認知度は約半数、生活福祉資金貸付金の認知度は約4割となっています。

【公的制度の利用状況、認知度（保護者）】





出典：H30 各務原市子ども調査 調査結果報告書

課題・分析

特に母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金等、ひとり親を対象とした制度は、他の制度と比べ、認知度が低いため、対象者へ制度の周知をしていく必要があります。

(5) 子どもの貧困対策計画の基本的な考え方

① 基本理念

すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現

基本理念の考え方

明日の日本を支えていくのは今を生きる子どもたちであり、貧困の連鎖によって子どもたちの将来が閉ざされることは決してあってはいけません。このような考え方から本市では「すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現」を基本理念とし、子育てや貧困を家庭のみの責任にするのではなく、地域や社会全体で課題を解決するという意識を持ち、子どものことを第一に考えた子どもの貧困対策を推進していきます。

② 基本方針



基本方針 1 貧困の連鎖を断ち切り、すべての子どもが夢や希望を持てる社会を目指す

貧困の連鎖を断ち切るためには、すべての子どもが前向きな気持ちで夢や希望を持ち、将来を支える人材に成長していけるようにすることが重要です。

子どものことを第一に考え、子どもの現在及び将来を見据えた支援を包括的に講じていきます。



基本方針 2 親の妊娠・出産期からの切れ目のない支援を推進する

子どもの貧困対策を進めるにあたっては、子どもの心身の健全な育成を確保するため、親の妊娠・出産期から、生活困窮を含めた家庭内の課題を早期に把握したうえで、適切な支援へつないでいく必要があります。また、乳幼児期から義務教育へと子どものライフステージに応じ、支援を切れ目なくつないでいくことが必要です。

そのため、母子保健サービスや保護者の就労・生活支援、経済的支援等の必要な支援が切れ目なく提供されるよう、関連機関における情報の共有、連携の促進を図ります。



基本方針 3 子どもを見まもり育てる地域との連携を推進する

貧困の状況にある子どもやその家族の一部には、利用できる支援制度を知らない、手続きが分からない、積極的に利用しつながらない等の状況がみられます。その結果必要な支援が受けられずに一層困難な状況に置かれてしまうことがあります。

こうした子どもたちや家庭を早期に発見し、適切な支援へつなげていくため、市民や地域、学校等との連携を推進します。また、支援やサービスの利用を必要とする世帯に対して適切な情報を提供するために、情報発信体制の強化を引き続き進めていきます。

(6) 子どもの貧困対策に向けた施策の展開

基本理念、基本方針を踏まえ、本市では、子どもの貧困対策に取り組むための視点をア. 教育の支援、イ. 生活の支援、ウ. 妊娠・出産期からの切れ目ない支援、エ. 保護者の就労支援、オ. 経済的支援、カ. 施策・制度の周知、地域との連携強化の6つにまとめ、施策を展開します。

ア. 教育の支援

子どもが家庭の環境に左右されることなく、学習意欲や学習習慣を身につけられるよう支援するとともに、自己肯定感や達成感の獲得につながる体験機会の充実を図ります。また、教育費の負担軽減、教育環境整備のための支援に努めます。

イ. 生活の支援

子どもたちが安心して過ごせる環境で健やかに育ち、基本的な生活習慣が身につくよう、家庭だけに頼るのではなく、学校、地域などと連携し、子どもの居場所づくりなど、社会の中で子どもたちの育ちを支えていく取り組みを進めます。

また、生活に困難を抱える家庭を早期に発見するため、相談支援の充実を図るとともに、子どもたちが健康で健やかに成長できるよう支援を行っていきます。

ウ. 妊娠・出産期からの切れ目ない支援

子どもの健やかな育ちのためには、親の妊娠・出産期からの良好な環境が必要なため、妊娠・出産期から関係機関と連携し、家庭の状況を総合的に把握することで適切な支援へつなげていきます。

エ. 保護者の就労支援

保護者が安心して就労でき、就労を継続しやすいよう環境を整えるとともに、就労につながる能力開発への支援やハローワーク等と連携し就労支援を行います。

オ. 経済的支援

ひとり親家庭や生活に困窮している世帯などの生活を支援するため、各種手当等を活用し、経済的な不安定さを和らげ、生活基盤の安定を図ります。

カ. 施策・制度の周知、地域との連携強化

困難を抱える家庭へ支援制度を情報提供するにあたり、家庭状況に応じて効果的な周知方法を工夫し、必要な支援情報が行き届きやすい体制を構築します。

また、地域のボランティアの力を借りるなど、困難な家庭を地域ぐるみで支えています。

(7) 子どものみらい応援プランにおける施策の体系と貧困対策

子どものみらい応援プランの重点施策と貧困対策の関連は以下のとおりです。

【貧困対策の分類】

ア. 教育の支援、イ. 生活の支援、ウ. 妊娠・出産期からの切れ目ない支援、
エ. 保護者の就労支援、オ. 経済的支援、カ. 施策・制度の周知、地域との連携強化

基本 目標	施策 目標	重点施策	関連する貧困対策
I 子育て家庭を支える環境づくり			
	①子育て支援サービスの充実		
	●多様な保育サービスの充実		ア・エ
	●児童健全育成事業の充実		イ・エ
	●子育て支援の充実		ア・エ・オ
	②親子のふれあいの場の充実		
	●親子のふれあいの場の充実		イ
	③安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくり		
	●切れ目のない妊産婦・乳幼児への支援の充実		ウ
	●相談支援体制の充実		ア・イ・ウ
II 地域の子育て支援力の向上			
	①地域の子育て支援の充実		
	●子どもの居場所づくり		イ
	●地域の見まもり体制の充実		ウ
	②ボランティアの養成とネットワークの構築		
	●ボランティアの養成、連携		カ
	●各種団体・NPO等との連携		カ
III 育児力向上のための支援			
	①学べる機会の充実		
	●育児講座、講演会の充実		ア
	②情報提供の充実		
	●わかりやすい情報の提供		カ
IV すべての子どもと家庭への支援の充実			
	①子どもの学びや体験の場の充実		
	●学びや体験の場の充実		ア
	③配慮を必要とする子どもや家庭への支援		
	●障がい児福祉の推進		ア・オ
	●子どもの虐待防止の強化		イ・ウ
	●ひとり親家庭への支援		ア・イ・エ・オ・カ
	●外国にルーツを持つ子どもへの支援		ア
V 子育てと仕事の両立のための支援			
	①子育てと仕事の両立支援		
	●子育てと仕事の両立のための環境整備		エ

(8) 子どもの貧困対策に向けた事業一覧

子どもの貧困対策に向けて取り組む事業を6つの視点別に掲載します。事業の内容については、既に「第4章 1 施策の体系」に記載済みのため、【 】内にページ数を記載しています。

第2期各務原市子ども・子育て支援事業計画

ア. 教育の支援

- 幼児教育・保育の無償化【P41】 ● 多子世帯の病児・病後児保育の利用料の免除【P42】
- 就学援助費の支給【P44】 ● 相談体制の充実(すてっぷ)【P48】
- 心の教室(相談体制の充実)【P48】 ● 親子対象講座【P53】 ● 子育て世代対象講座【P53】
- 寺子屋事業(基礎学力定着事業)【P57】 ● 寺子屋事業(ものづくり見学事業)【P57】
- 寺子屋事業(ふるさとの歴史発見事業)【P57】 ● 寺子屋事業(福祉体験学習事業)【P57】
- 自然体験塾講座【P58】 ● 子ども対象講座【P58】 ● ものづくり体験教室【P58】
- 特別支援教育就学奨励費の支給【P62】 ● 放課後児童健全育成事業(利用料の減免)【P64】
- 保育料の軽減【P64】 ● Futuro教室の運営【P65】

イ. 生活の支援

- 放課後子ども教室事業【P42】 ● 小児生活習慣病予防対策事業【P43】
- 子ども館運営事業【P44】 ● 那加保育園「たんぼぼ」【P45】 ● 家庭児童相談事業【P48】
- ひとり親家庭相談事業【P48】 ● 「親子サロン」運営支援【P50】
- 子ども食堂支援事業【P50】
- 子育て支援短期利用事業(ショートステイ・トワイライトステイ事業)【P63】
- 母子生活支援施設の活用【P64】 ● 生活相談センターさぼーと【追加】※1

ウ. 妊娠・出産期からの切れ目ない支援

- マタニティ広場事業【P46】 ● 妊婦健康診査事業【P46】 ● 産後のケア事業【P46】
- 新生児第1子全戸訪問事業【P46】 ● 乳幼児健診事業(母子保健事業)【P46】
- 2歳児歯科教室(歯科保健事業)【P47】 ● のびのび測定(母子保健事業)【P47】
- 妊婦相談(妊婦の健康相談事業)【P47】
- 母と子の健康相談(保健、栄養、発達の各種相談事業)【P47】 ● 訪問指導事業【P47】
- 母子健康包括支援センター事業(クローバー)【P47】
- こんにちは赤ちゃん訪問事業【P51】 ● 養育支援訪問事業【P63】

エ. 保護者の就労支援

- 通常保育事業【P41】 ● 乳児保育事業【P41】 ● 延長保育事業【P41】
- 一時預かり事業【P41】 ● 病児・病後児保育事業【P41】
- ファミリー・サポート・センター事業 産後お助け隊【P41】
- 放課後児童健全育成事業【P42】 ● 幼稚園預かり保育事業【P44】
- 高等職業訓練促進給付金事業【P64】 ● ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業【P64】
- 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業【P64】
- 両立支援事業の促進(再就職準備講座の広報)【P66】 ● ハローワークとの連携【P66】
- 生活保護受給者への就労支援【追加】※2

オ. 経済的支援

- こども医療費の助成【P44】 ● 児童手当の支給【P44】
- 各務原市児童育成福祉助成金の支給【P44】 ● 特別児童扶養手当の支給【P62】
- 重度障がい者医療費の助成【P62】 ● 障害児福祉手当の支給(市)【P62】
- 児童扶養手当の支給【P64】 ● 母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付【P64】
- ひとり親家庭児童等小中学校入学祝金の支給【P64】 ● 母子家庭等医療費の助成【P64】
- 父子家庭医療費の助成【P64】 ● 養育費の確保の推進【P64】

カ. 施策・制度の周知、地域との連携強化

- 地域の子育て支援力の発掘と養成(子ども館)【P52】
- サポーター研修会(ファミリー・サポート・センター事業)【P52】
- まちづくり活動助成事業【P52】 ● 子育て支援に関する情報提供【P54】
- インターネットを活用した子育て支援情報の提供【P54】
- ひとり親家庭への支援制度の情報提供【P64】

なお、以下の事業については、貧困対策としての市の事業であるため、「子どもの貧困対策に向けた事業一覧」に追加して掲載しました。

- ※1 生活相談センターさぼーと（社会福祉協議会）…生活上の悩みや経済的な困りごとについて、社会福祉士などの相談員と一緒に問題を整理しながら、解決に向けてのお手伝いをします。
- ※2 生活保護受給者への就労支援（社会福祉課）…就労支援員による支援やハローワークと福祉事務所等のチーム支援、就労の準備段階の方への支援等きめ細かい支援を実施します。

